

市民の生活等に関する調査
(ひきこもりに関する実態調査)
報 告 書

令和 8 年 8 月

札幌市

目 次

1 調査報告書

(1) 無作為抽出アンケート調査	1
① 調査の概要	2
ア) 調査目的	2
イ) 調査項目	2
ウ) 調査対象	2
エ) 調査時期	2
オ) 調査方法	2
カ) 回収結果	2
② 広義のひきこもり群の定義	3
ア) 広義のひきこもり群	3
イ) 一般群	4
ウ) 世帯内のひきこもり状態の方について	7
③ 調査の結果	8
(2) 当事者及び家族向けアンケート調査	51
① 調査の概要	52
ア) 調査目的	52
イ) 調査項目	52
ウ) 調査対象	52
エ) 調査時期	52
オ) 調査方法	52
カ) 回収結果	52
② ひきこもり状態(現在ひきこもり群・過去ひきこもり群)の定義	53
③ 調査の結果	54

(3) 関係機関向けアンケート調査	85
① 調査の概要	86
ア)調査目的	86
イ)調査項目	86
ウ)調査対象	86
エ)調査時期	86
オ)調査方法	86
カ)回収結果	86
② 調査の結果	87
(4) 8050 問題に関するアンケート調査	97
① 調査の概要	98
ア)調査目的	98
イ)調査項目	98
ウ)調査対象	98
エ)調査時期	98
オ)調査方法	98
カ)回収結果	98
② ひきこもり類型(いる(子:8050)群・いる(子以外)群・いない群)の定義	99
ア)いる(子:8050)群	99
イ)いる(子以外)群	99
ウ)いない群	100
③ 調査の結果	101

(4) 8050 問題に関するアンケート調査

1-(4) 調査報告書 8050 問題に関するアンケート調査

① 調査の概要

ア)調査目的

前回調査から7年が経過しており、いわゆる「8050問題」と言われる、高齢者の親と高齢化した子どものひきこもり支援の必要性について介護保険分野及び高齢福祉分野から発信と問題提起が行われるようになるなど、ひきこもり支援は多様性を帯びようになってきた。

本調査は、ひきこもりの長期化・高齢化等の社会情勢の変化を踏まえ、「8050問題」が生じている可能性がある世帯及び将来的に生じるリスクが比較的高いと思われる世帯への適切な相談・支援について、検討を行うための基礎資料の作成を目的として実施する。

イ)調査項目

- a. 基本属性について(Q1～Q6)
- b. 日常生活に関すること(Q7～Q9)
- c. 同居している家族のひきこもり状態に関すること(Q10～18)
- d. ひきこもり状態にある人の相談に関すること(Q19～20)
- e. 生活の困りごとなどについての相談・支援に関すること(Q21～24)
- f. 8050問題で悩む方々への支援等について(Q25～26)

ウ)調査対象

- a. 母集団 札幌市在住の、同一世帯内に満 30 歳から 59 歳までの子がいる、満 60 歳から 89 歳までの者
- b. 標本数 1,000 人
- c. 抽出方法 無作為抽出法

エ)調査時期

令和 7 年 11 月 17 日～12 月 19 日

オ)調査方法

郵送配布・郵送回収又は WEB 回答

カ)回収結果

回収数(率) 503 人(50.3%)
【郵送 414 人(41.4%)、Web 回答 89 人(8.9%)】

② ひきこもり類型《いる(子:8050)群、いる(子以外)群、いない群》の定義

「8050問題」が生じている可能性がある世帯及び将来的に生じるリスクが比較的高いと思われる世帯についての調査を行うため、以下の者を調査対象としている。

・札幌市在住の、同一世帯内に満 30 歳から 59 歳までの子がいる、満 60 歳から 89 歳までの者 ※子がいる者(親)を対象に調査を実施

本調査では、調査対象者自身の意識に基づいた「世帯内のひきこもりの状態の方の有無」についての質問への回答により、以下の3つに分類する。

ア)いる(子:8050)群

調査対象者本人及び同居している家族の中にひきこもり状態の方がいる者を「世帯内にひきこもり状態の方がいる群」とし、かつ、ひきこもり状態の方が調査対象者の子である者の場合、「8050問題」が生じている可能性がある、または将来的に生じるリスクが比較的高い者として、「世帯内にひきこもり状態の子がいる群(8050)」と分類する。※以下、この分類の略称を「いる(子:8050)群」とする。

具体的な定義については、以下のとおり。

「Q10 現在、「あなた」及び「あなたが同居しているご家族」の中に、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態の方はいますか。」について、「いる」を選択した者

かつ

「Q11 あなたから見て、あなたとその方の続柄を教えてください。」について、「ご自身のお子さん」を選択した者

イ)いる(子以外)群

前記、「世帯内にひきこもり状態の方がいる群」であるが、ひきこもり状態の方が調査対象者の子以外である者については、「世帯内にひきこもり状態の方がいる群(子以外)」と分類する。※以下、この分類の略称を「いる(子以外)群」とする。

具体的な定義については、以下のとおり。

「Q10 現在、「あなた」及び「あなたが同居しているご家族」の中に、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態の方はいますか。」について、「いる」を選択した者

かつ

「Q11 あなたから見て、あなたとその方の続柄を教えてください。」について、「ご自身のお子さん」以外を選択した者

ウ)いない群

調査対象者本人及び同居している家族の中にひきこもり状態の方がいない者を「世帯内にひきこもり状態の方がいない群」と分類する。※以下、この分類の略称を「いない群」とする。

具体的な定義については、以下のとおり。

「Q10 現在、「あなた」及び「あなたが同居しているご家族」の中に、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態の方はいますか。」について、「いない」を選択した者

なお、「無作為抽出アンケート調査」のような除外要件に関する質問項目を設けることが困難であることから、「広義のひきこもり群」に関する分類は行わない。

また、「札幌市在住の、同一世帯内に満 30 歳から 59 歳までの子がいる、満 60 歳から 89 歳までの者」の母数が明確でないため、出現率の推計も行わない。

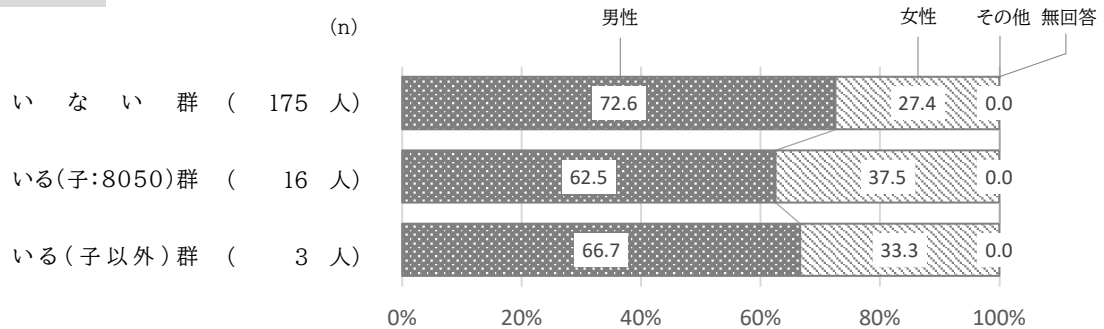
③ 調査の結果

※回答者全員がすべての質問に回答しているわけではないため、全体の数と内訳の合計が一致しない場合があります。

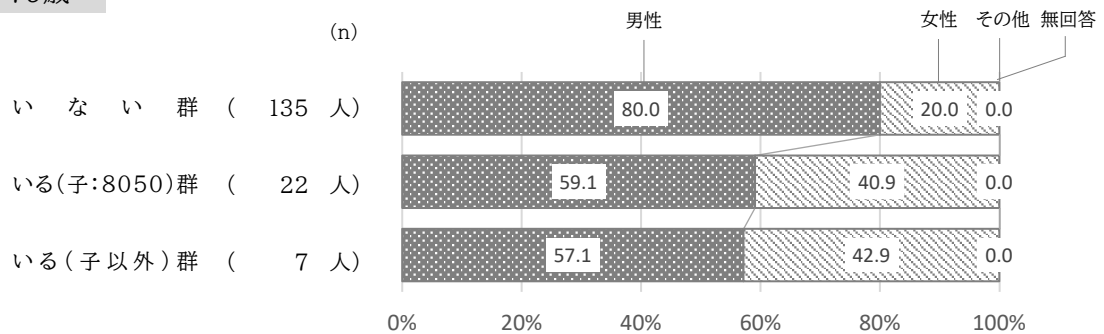
a. 基本属性について

Q1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつだけ)

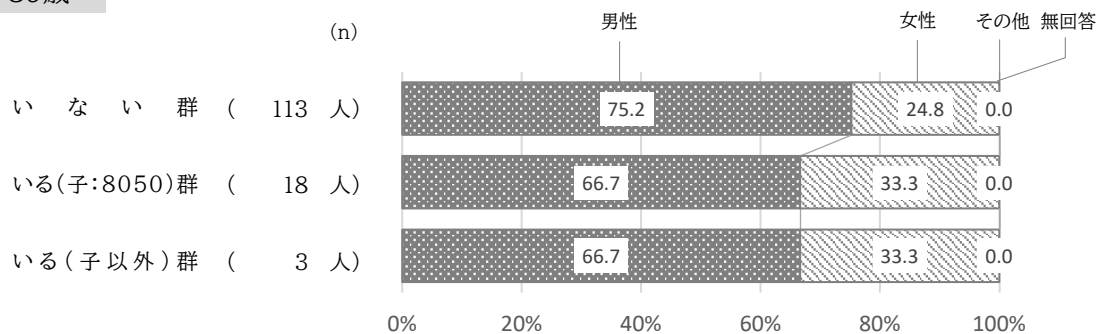
60歳～69歳



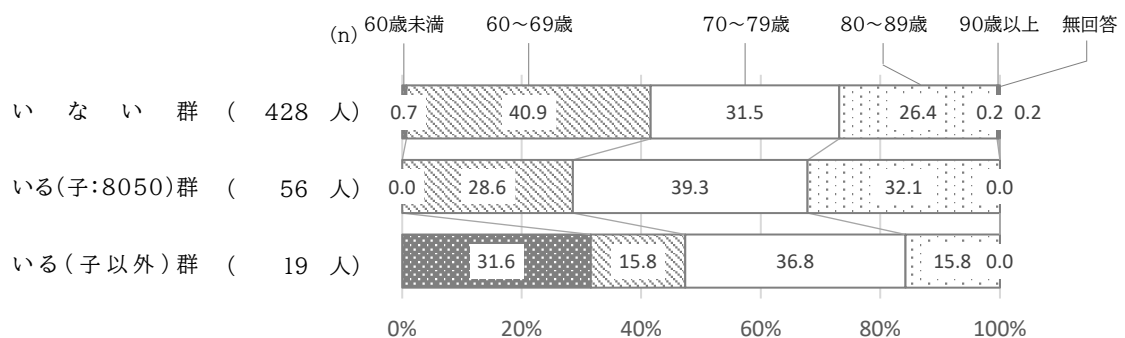
70歳～79歳



80歳～89歳

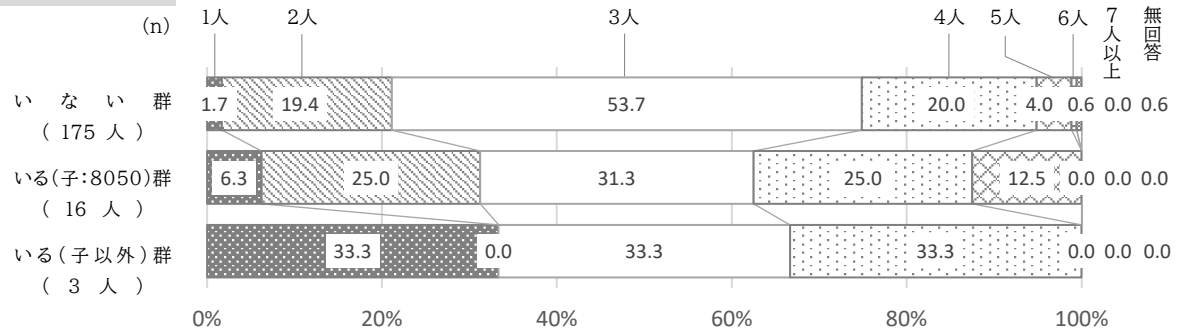


Q2 あなたの年齢(令和7年9月24日現在)を教えてください。(数字で具体的に)



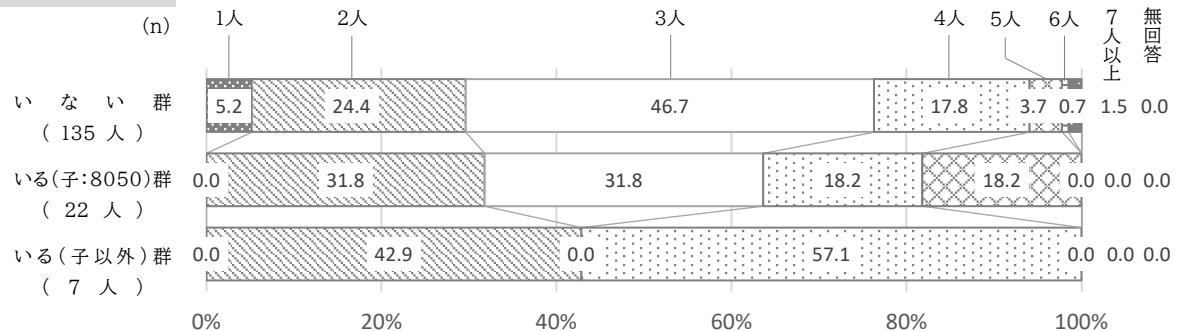
Q3 現在同居している人は合計で何人ですか。あなたも含めた人数を記入してください。(数字で具体的に)

60歳～69歳



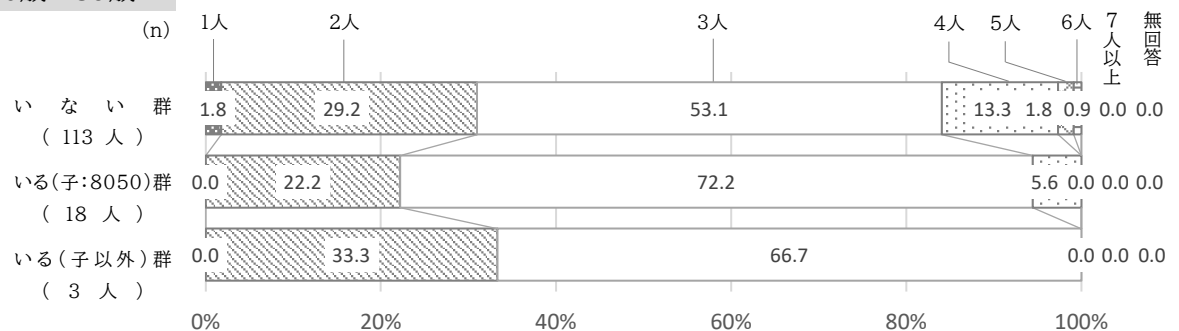
同居人数は、全群で「3人」が最も多く、いない群では53.7%、いる(子:8050)群では31.3%、いる(子以外)群では33.3%であった。

70歳～79歳



同居人数は、最も多いのが、いない群では「3人」で46.7%、いる(子:8050)群では「2人」及び「3人」で31.8%、いる(子以外)群では「4人」で57.1%であった。

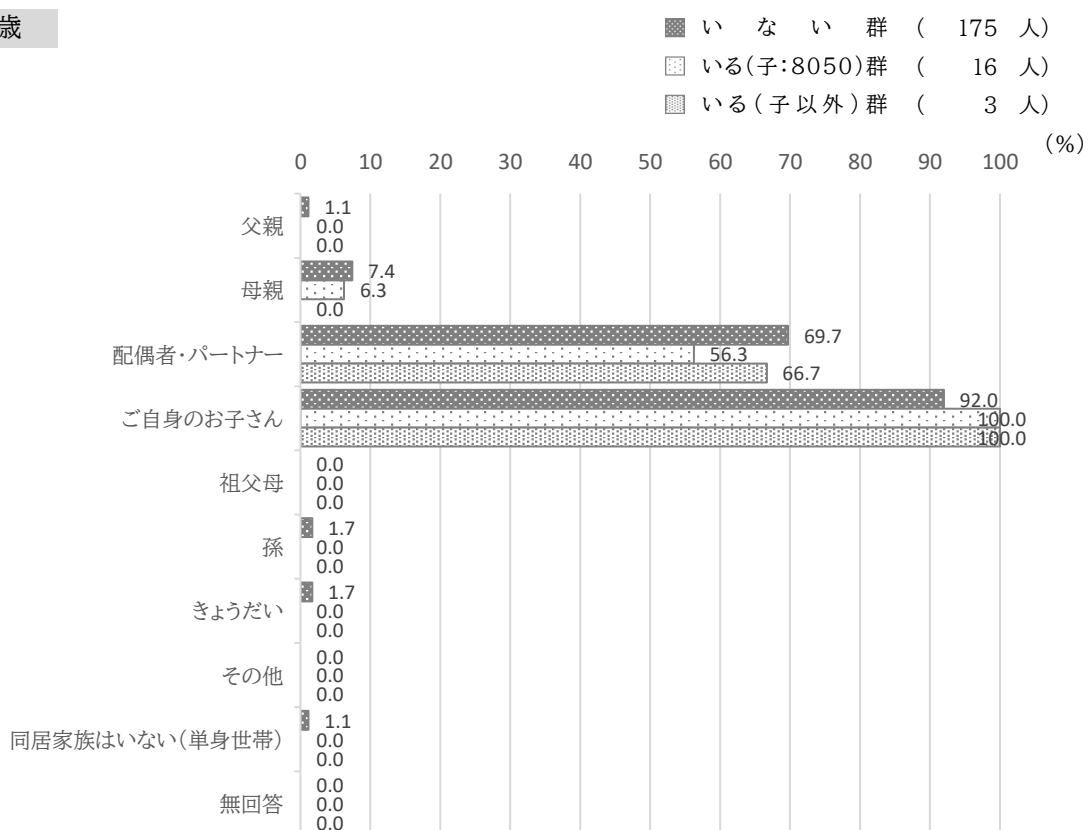
80歳～89歳



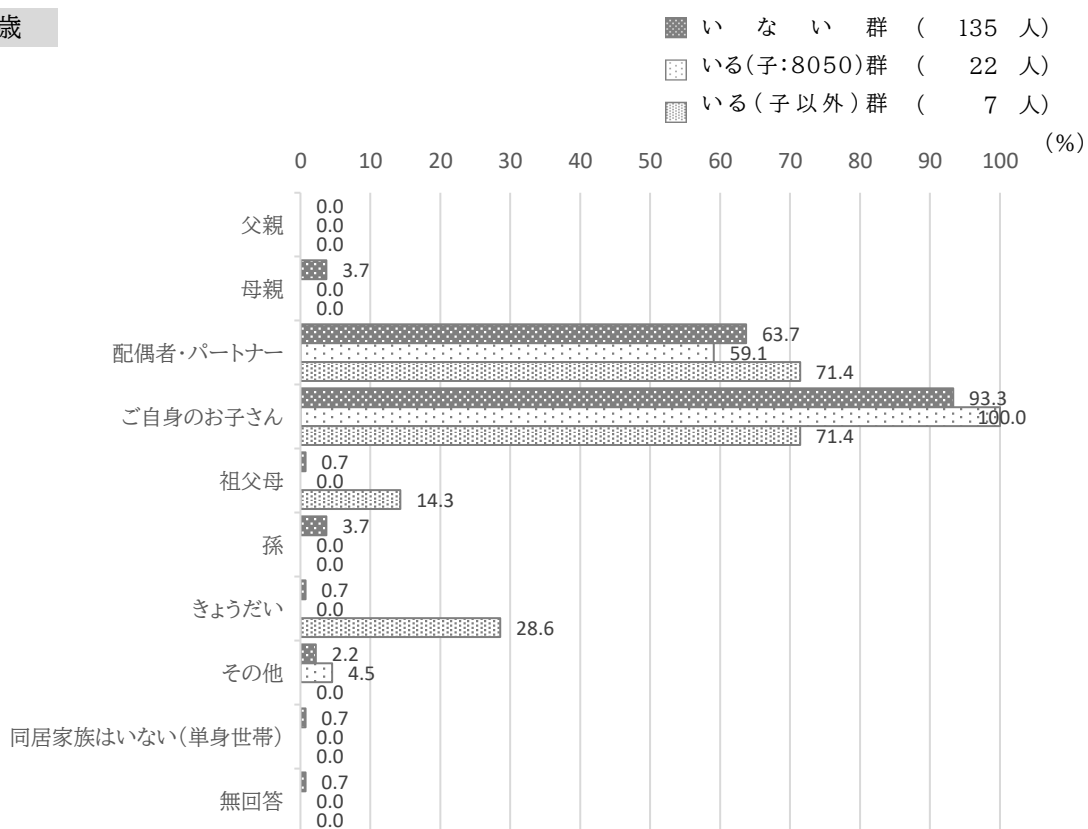
同居人数は、全群で「3人」が最も多く、いない群では53.1%、いる(子:8050)群では72.2%、いる(子以外)群では66.7%であった。

Q4 現在あなたと同居しているご家族に○をつけてください。(○はいくつでも)

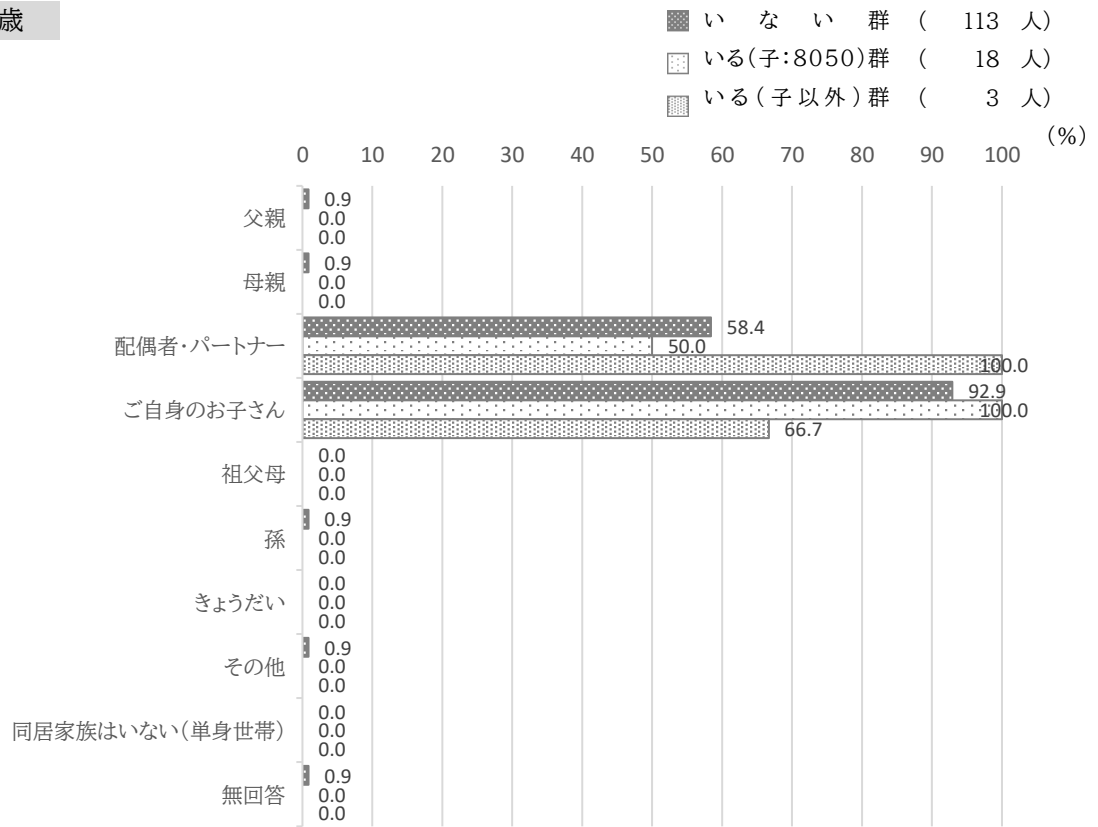
60歳～69歳



70歳～79歳

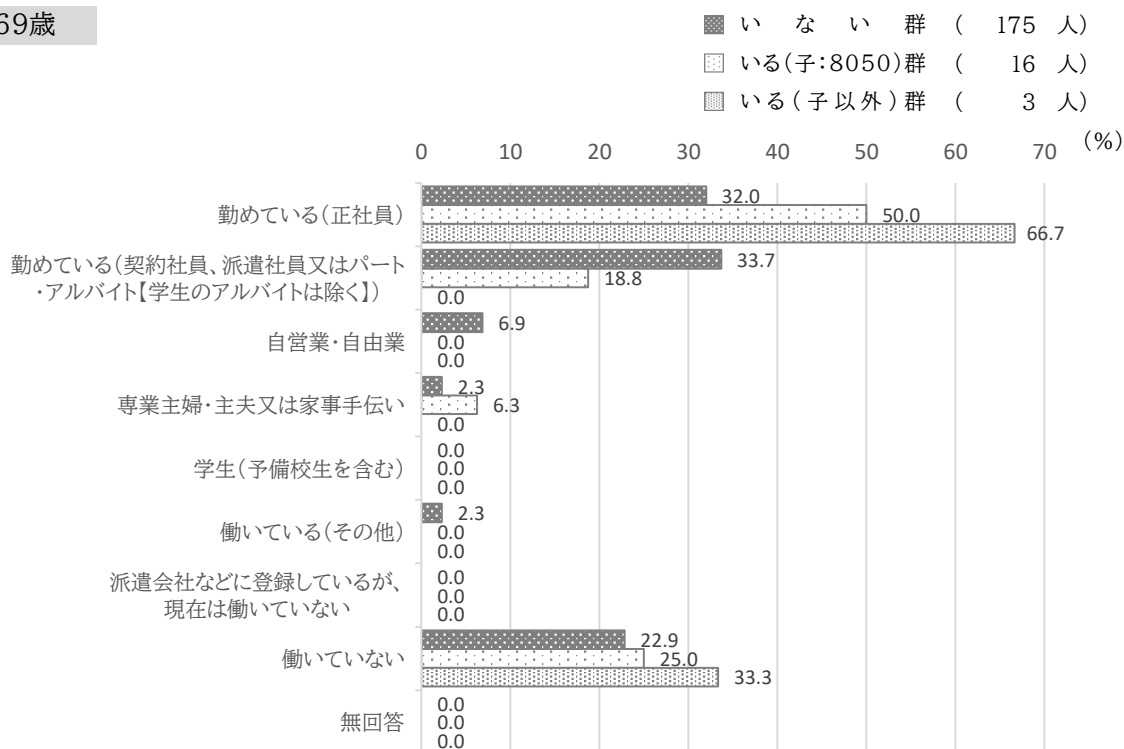


80歳～89歳



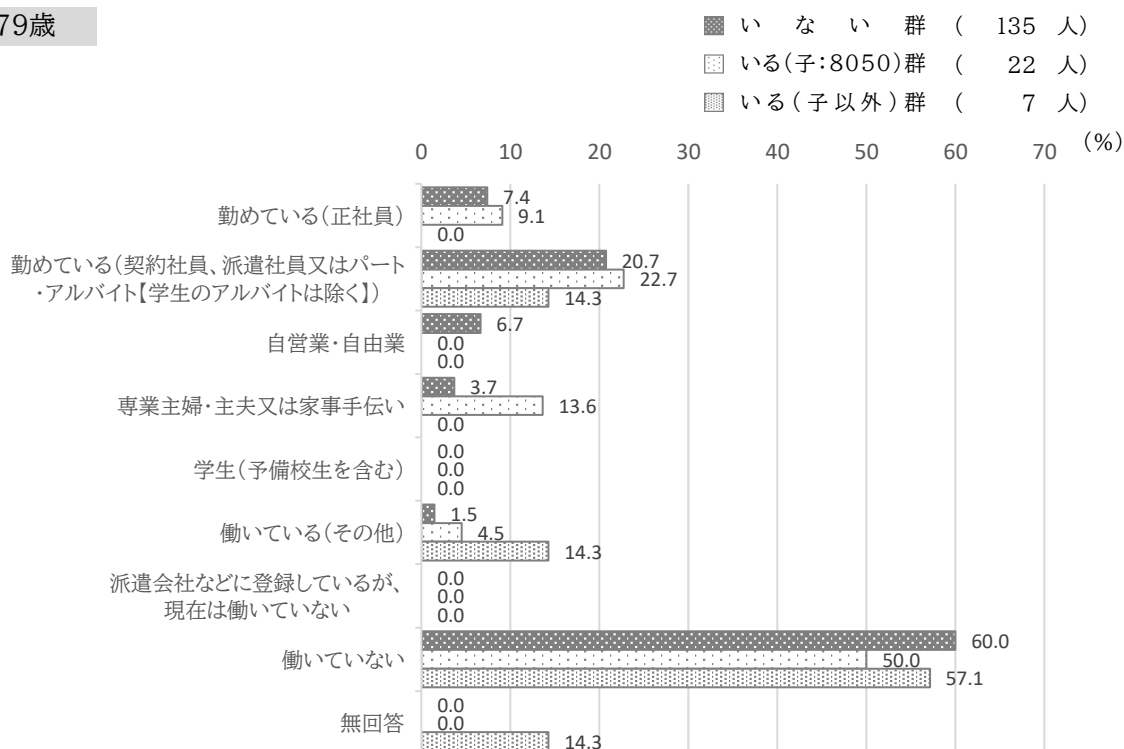
Q5 あなたの主な就労・就学等の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

60歳～69歳



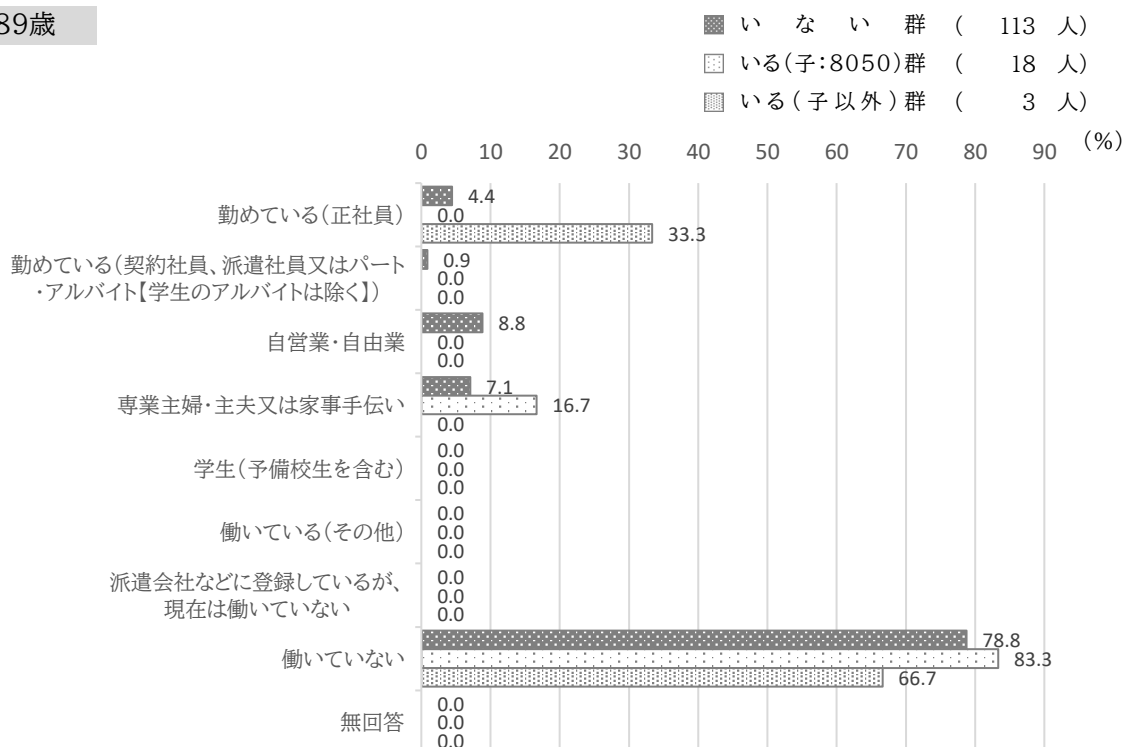
現在の就業状況については、最も多いのが、いない群では「勤めている(契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト【学生のアルバイトは除く】)」が33.7%、いる(子:8050)群では「勤めている(正社員)」が50.0%、いる(子以外)群では「勤めている(正社員)」が66.7%であった。

70歳～79歳



現在の就業状況については、全群で「働いていない」が最も多く、いない群では60.0%、いる(子:8050)群では50.0%、いる(子以外)群では57.1%であった。

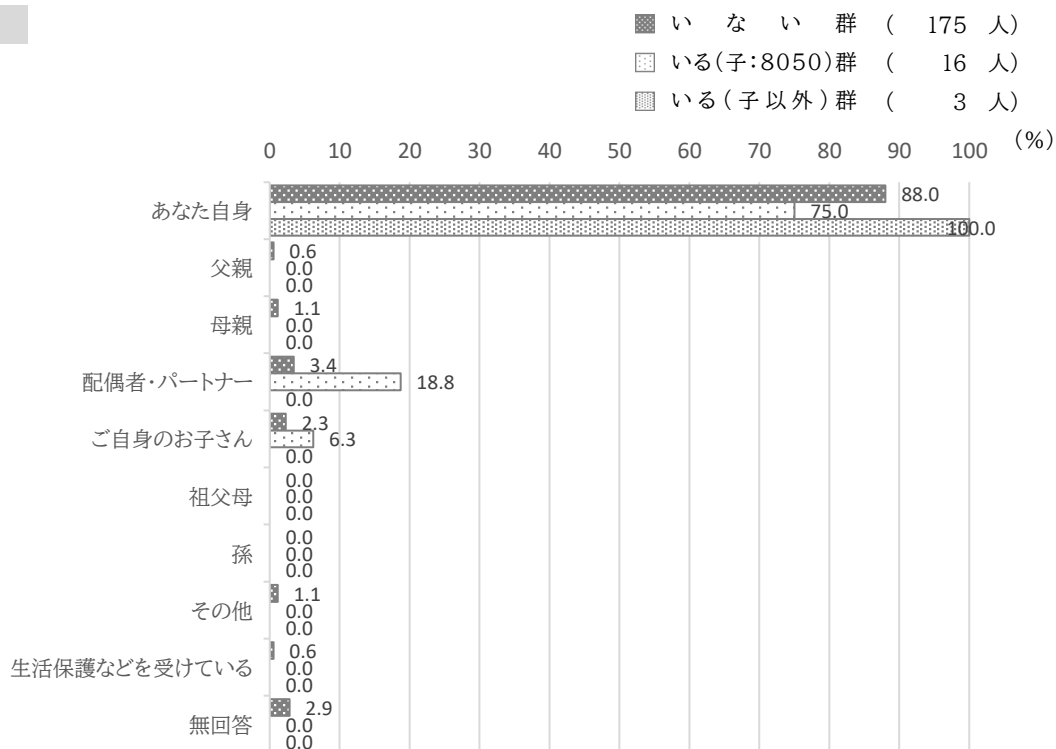
80歳～89歳



現在の就業状況については、全群で「働いていない」が最も多く、いない群では78.8%、いる(子:8050)群では83.3%、いる(子以外)群では66.7%であった。

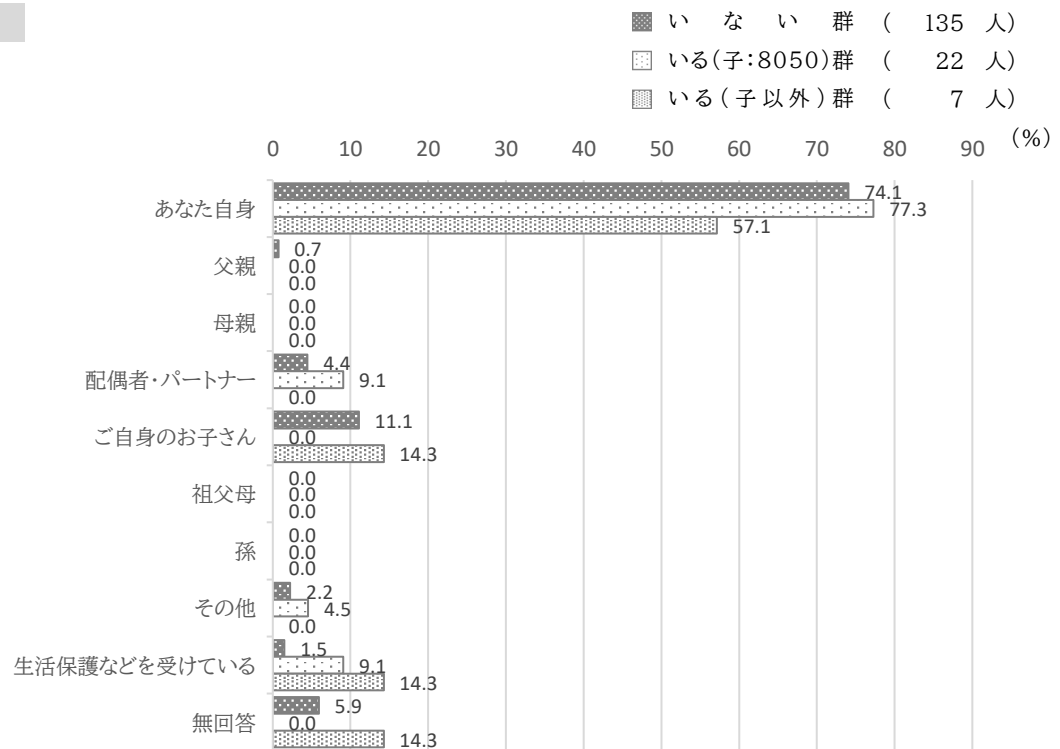
Q6 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(○はひとつだけ)

60歳～69歳



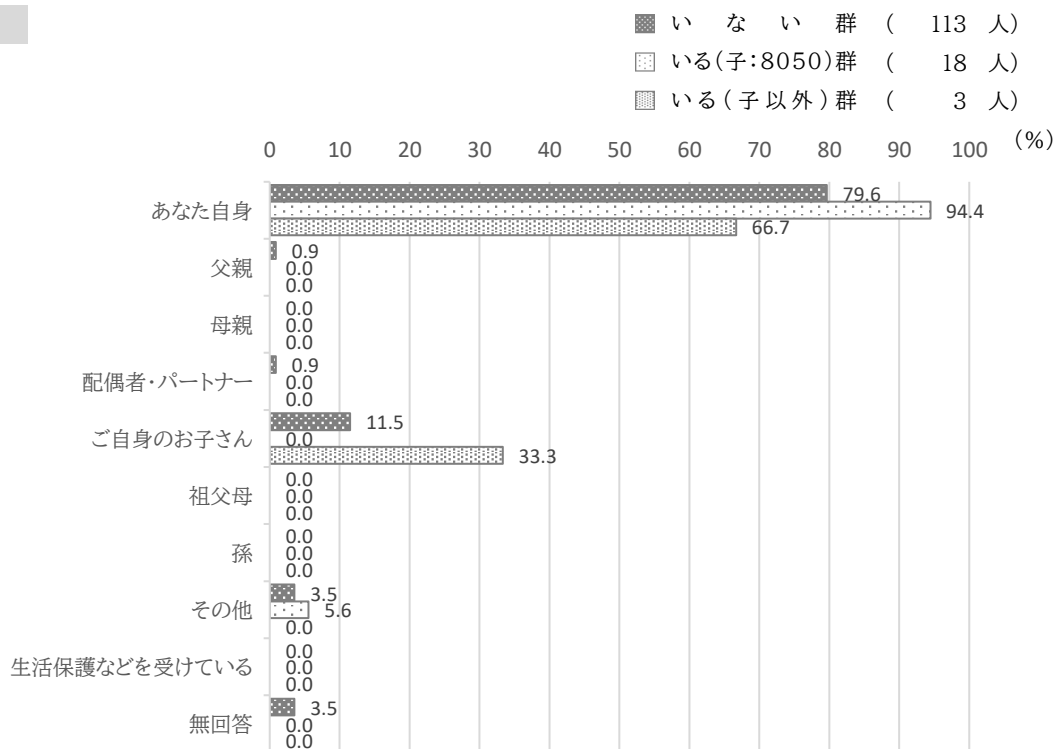
主な生計維持者については、全群で「あなた自身」が最も多く、いない群では88.0%、いる(子:8050)群では75.0%、いる(子以外)群では100.0%であった。

70歳～79歳



主な生計維持者については、全群で「あなた自身」が最も多く、いない群では74.1%、いる(子:8050)群では77.3%、いる(子以外)群では57.1%であった。

80歳～89歳

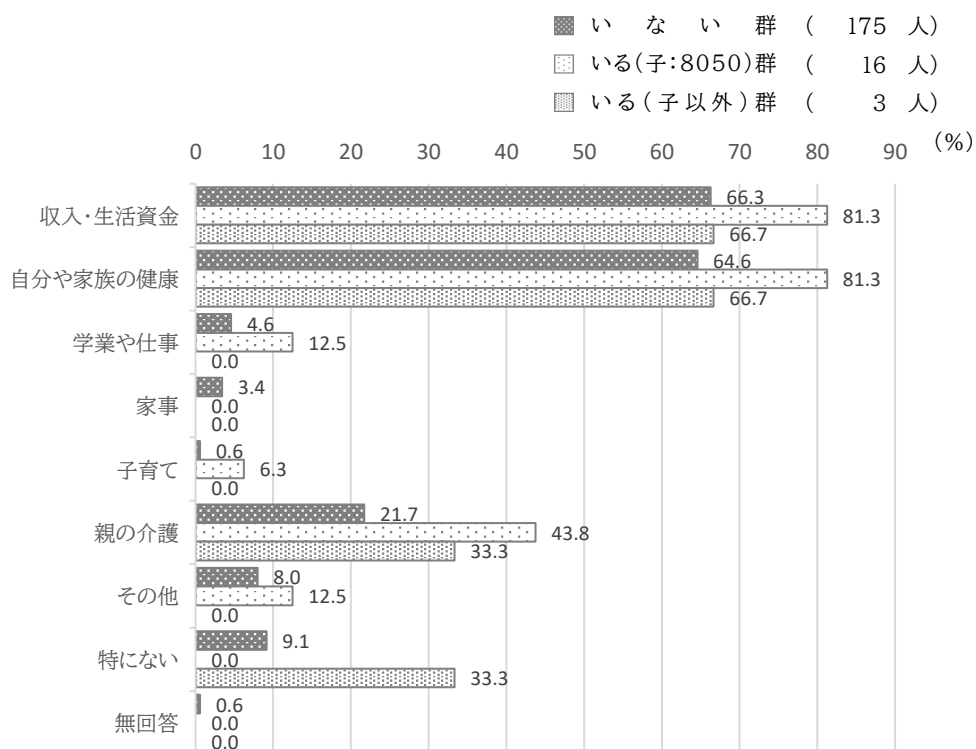


主な生計維持者については、全群で「あなた自身」が最も多く、いない群では79.6%、いる(子:8050)群では94.4%、いる(子以外)群では66.7%であった。

b. 日常生活に関すること

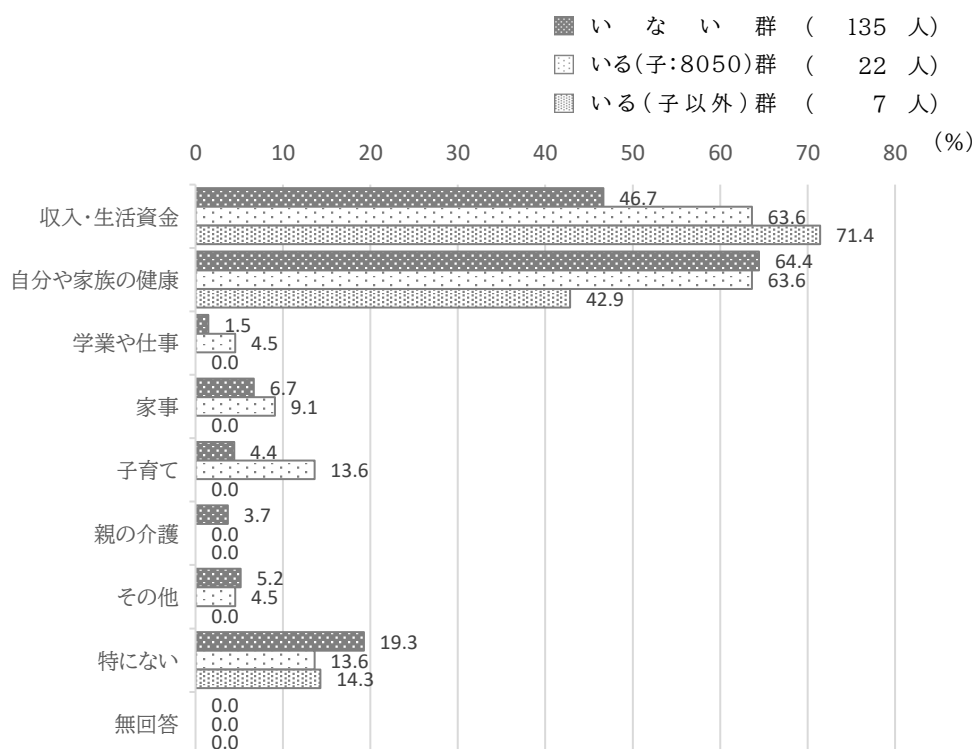
Q7 あなたが現在、日常生活において不安や悩みに思っている事柄は何ですか。(〇はいくつでも)

60歳～69歳



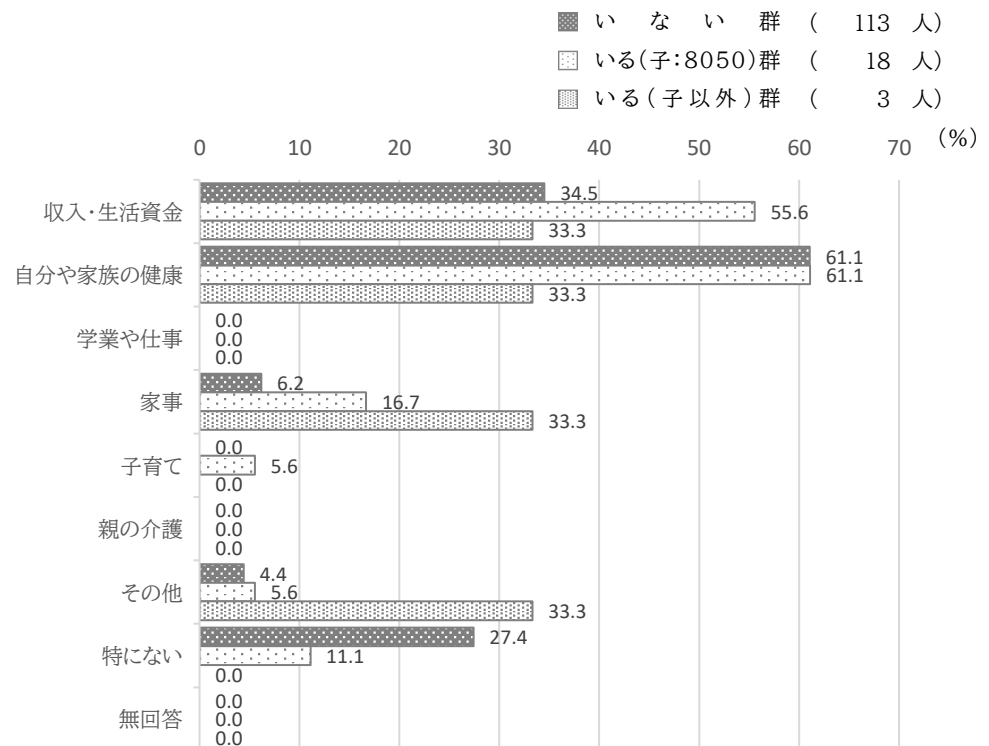
日常生活において不安や悩みに思っている事柄については、いない群では「収入・生活資金」が66.3%で最も多く、ついで「自分や家族の健康」が64.6%であった。いる(子:8050)群では「収入・生活資金」及び「自分や家族の健康」が81.3%、いる(子以外)群では「収入・生活資金」及び「自分や家族の健康」が66.7%が最も多かった。

70歳～79歳



日常生活において不安や悩みに思っている事柄については、最も多いのが、いない群では「自分や家族の健康」が64.4%、いる(子:8050)群では「収入・生活資金」及び「自分や家族の健康」が63.6%、いる(子以外)群では「収入・生活資金」が71.4%であった。

80歳～89歳



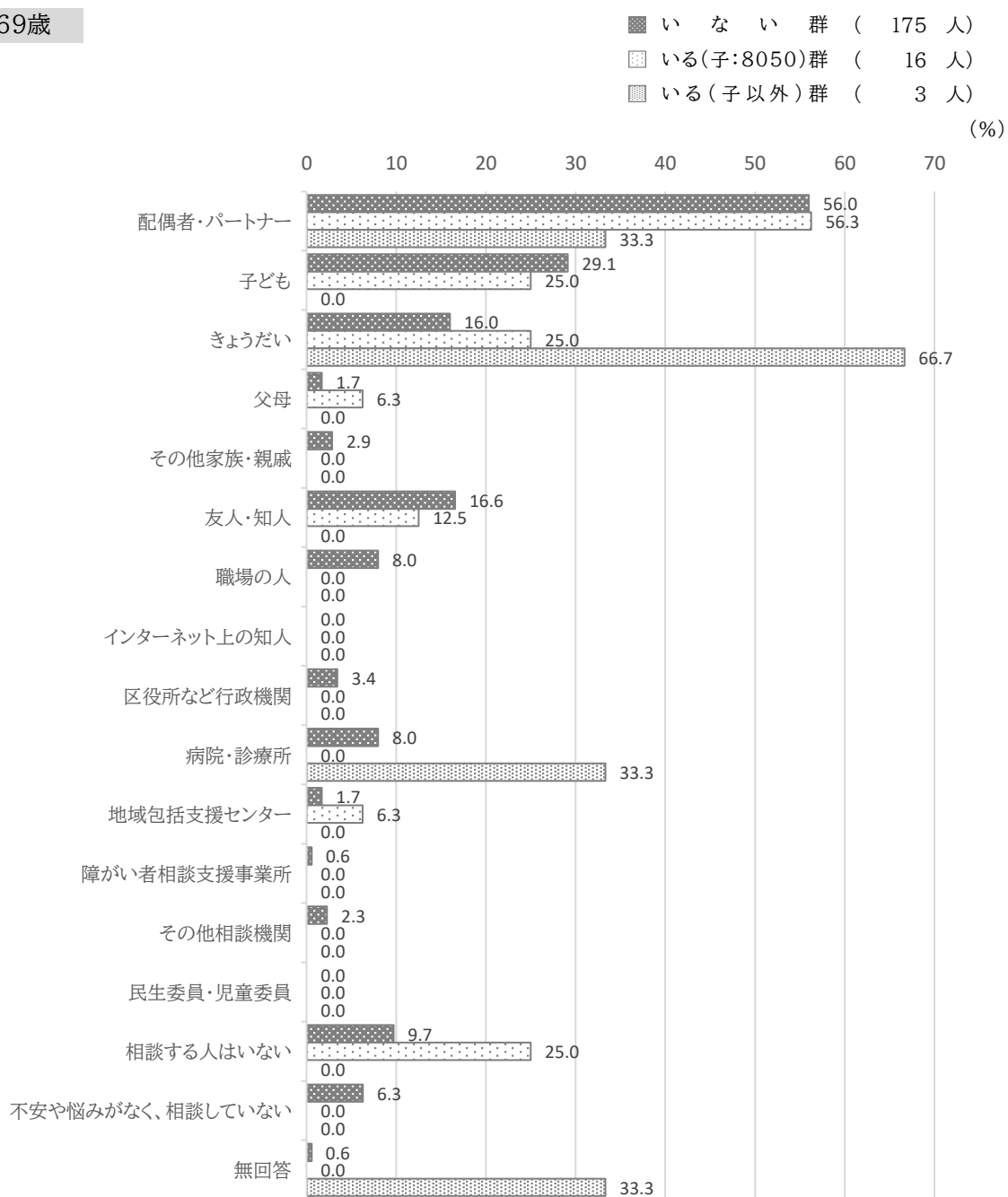
日常生活において不安や悩みに思っている事柄については、いない群及びいる(子:8050)群では「自分や家族の健康」が61.1%で最も多く、いる(子以外)群では「収入・生活資金」及び「自分や家族の健康」、「家事」、「その他」が33.3%で回答が分かれた。

その他の内容

年代	内容
すべて	子供の仕事(5件) 障がいのある子・病気の子の将来(4件) 子の将来・死後の子供のこと(4件) 健康・病気(3件) 老後の生活(3件) 家の老朽化、借家メンテナンス(3件) 認知症(2件) 終活 実家や先祖墓終い 退職後の年金金額 働けなくなった時の生活 買物

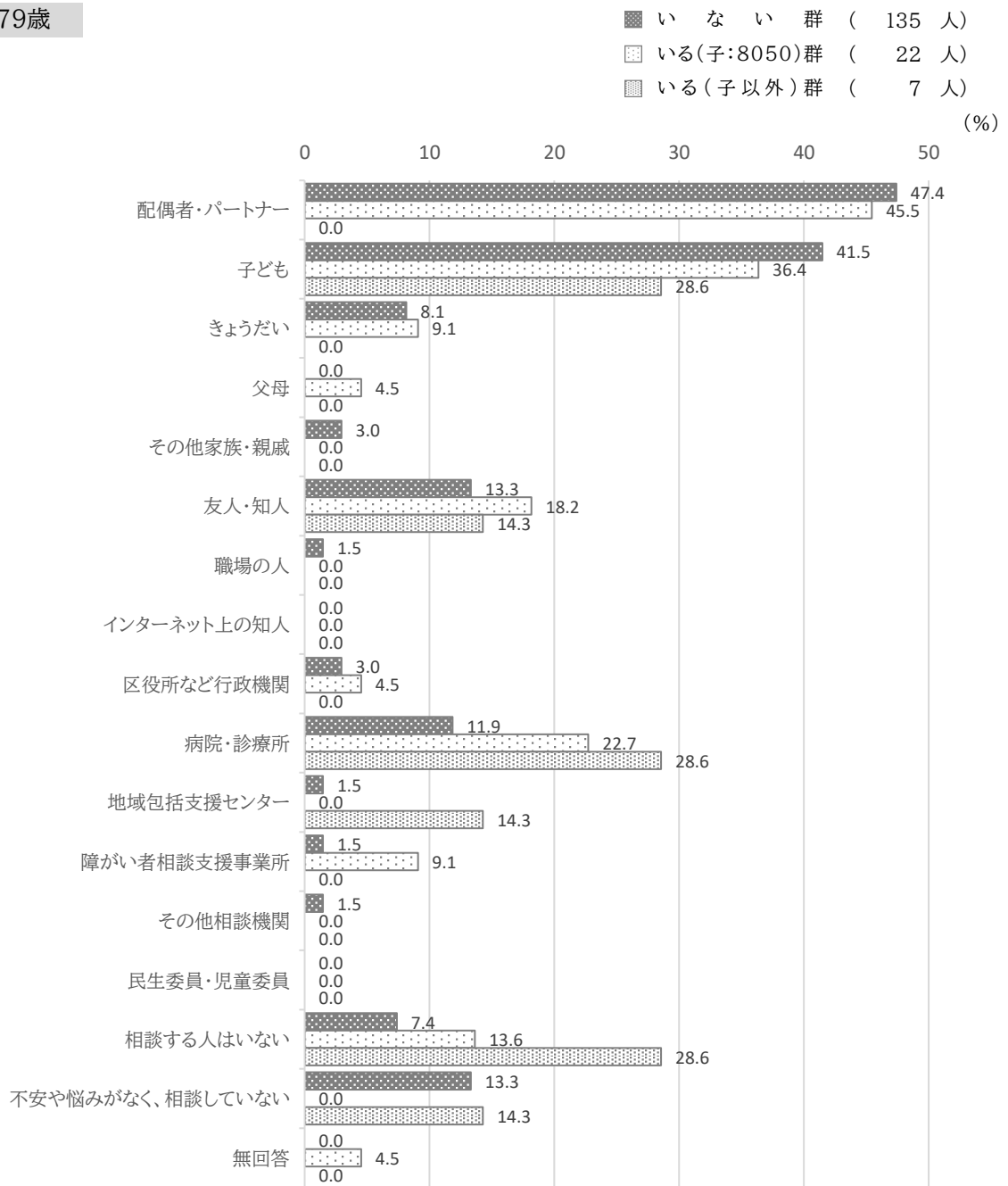
Q8 あなたは現在、日常生活の不安や悩みを誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

60歳～69歳



日常生活において不安や悩みの相談相手については、最も多いのが、いない群では「配偶者・パートナー」が56.0%、いる(子:8050)群では「配偶者・パートナー」が56.3%、いる(子以外)群では「きょうだい」が66.7%であった。

70歳～79歳



日常生活において不安や悩みの相談相手については、いない群では「配偶者・パートナー」が47.4%、いる(子:8050)群では「配偶者・パートナー」が45.5%で最も多く、いる(子以外)群では「子ども」及び「病院・診療所」、「相談する人はいない」が28.6%で回答が分かれた。

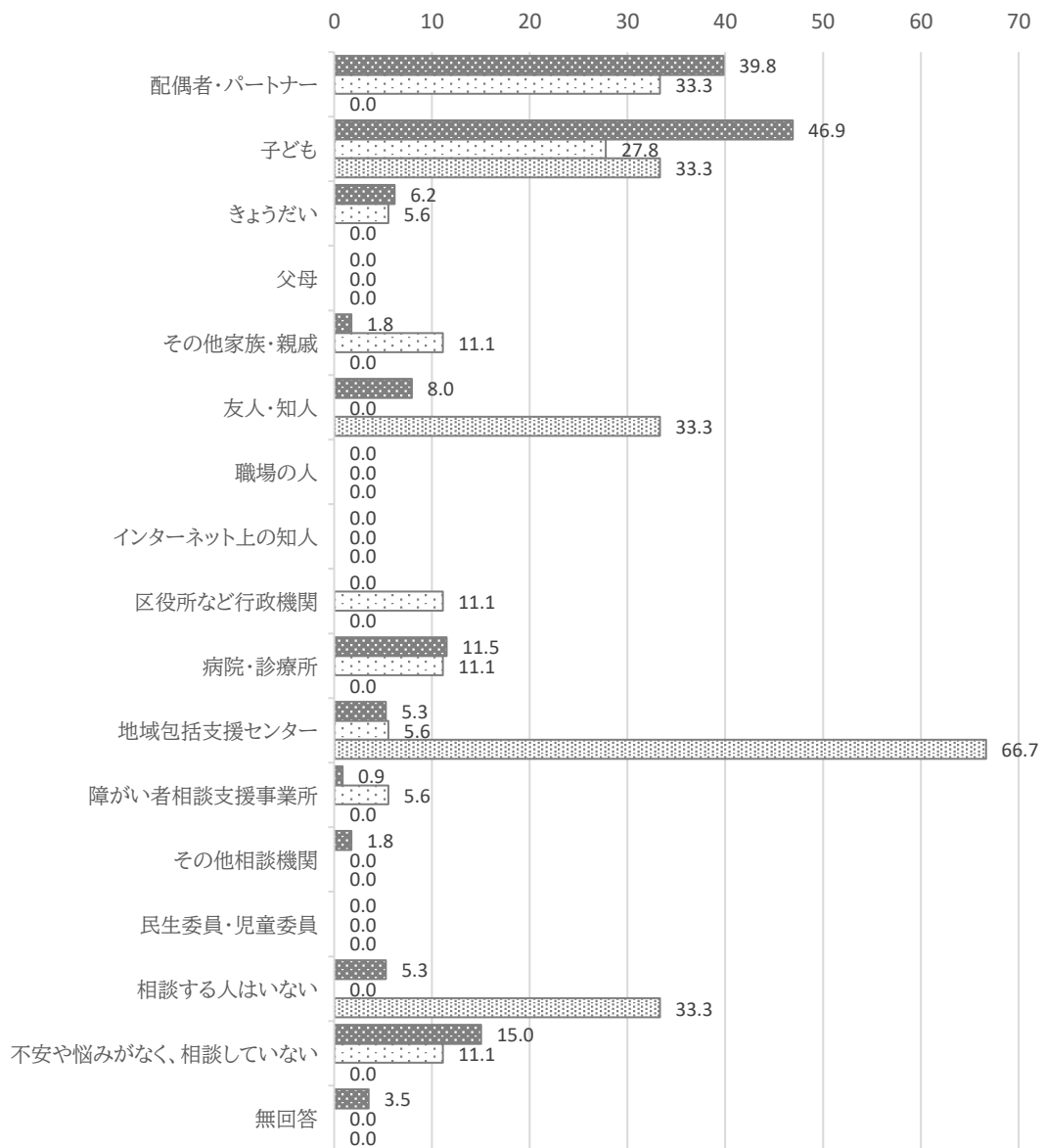
80歳～89歳

■ い ない 群 (113 人)

▨ いる(子:8050)群 (18 人)

▤ いる(子以外)群 (3 人)

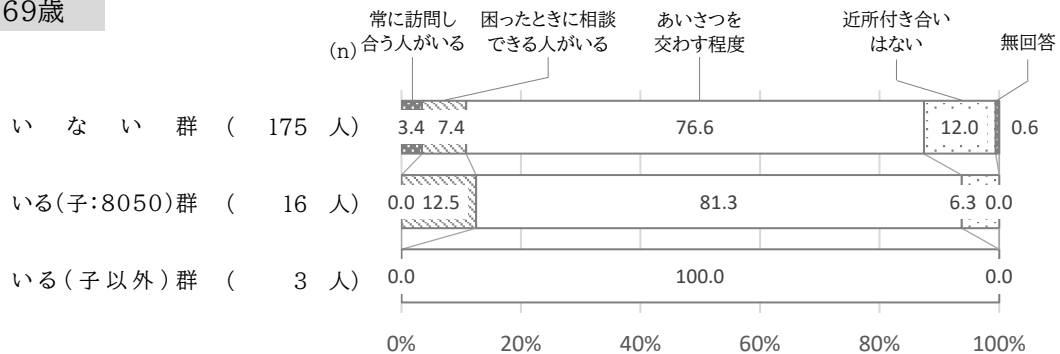
(%)



日常生活において不安や悩みの相談相手については、最も多いのが、いない群では「子ども」が46.9%、いる(子:8050)群では「配偶者・パートナー」が33.3%、いる(子以外)群では「地域包括支援センター」が66.7%であった。

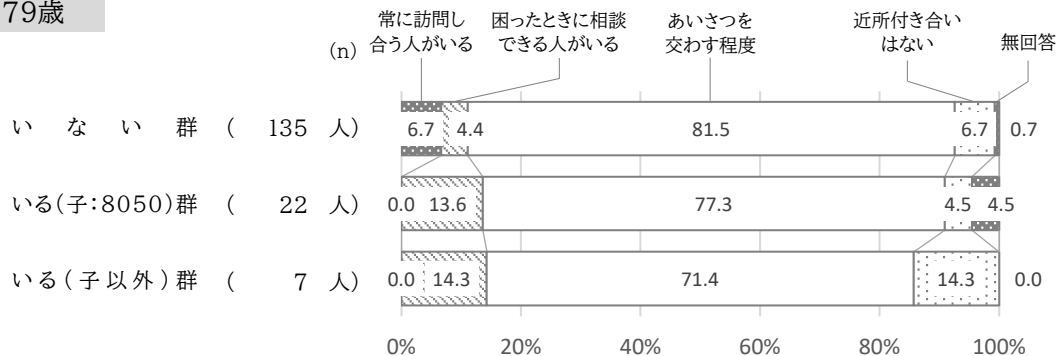
Q9 あなたのご近所の方との付き合い方の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

60歳～69歳



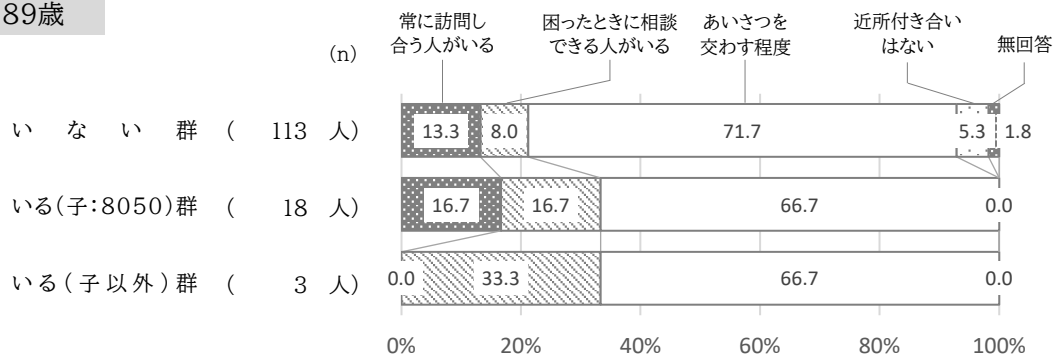
ご近所の方との付き合い方の状況は、全群で「あいさつを交わす程度」が最も多く、いない群では76.6%、いる(子:8050)群では81.3%、いる(子以外)群では100.0%であった。

70歳～79歳



ご近所の方との付き合い方の状況は、全群で「あいさつを交わす程度」が最も多く、いない群では81.5%、いる(子:8050)群では77.3%、いる(子以外)群では71.4%であった。

80歳～89歳

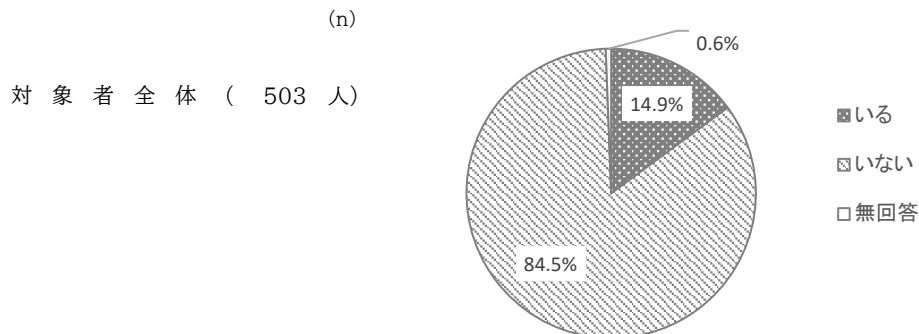


ご近所の方との付き合い方の状況は、全群で「あいさつを交わす程度」が最も多く、いない群では71.7%、いる(子:8050)群及びいる(子以外)群では66.7%であった。

c. 同居している家族のひきこもり状態に関すること

Q10 現在、「あなた」及び「あなたが同居しているご家族」の中に、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態の方」はいますか。(○はひとつだけ)

※Q10の設問は、いない群という群を定義するために使用



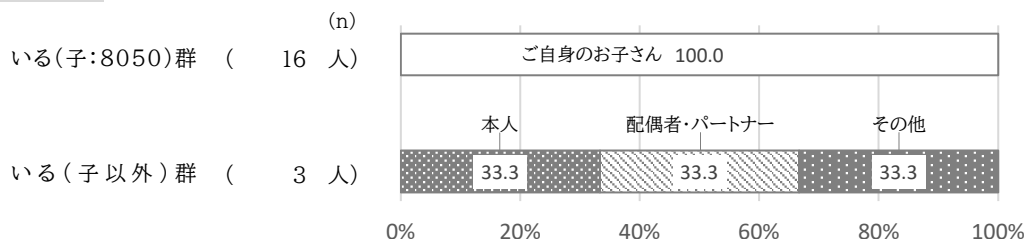
【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

Q11 あなたから見て、あなたとその方の続柄を教えてください。(○はひとつだけ)

※該当者が複数いる場合は、満30歳以上の方の中で年齢の一番低い方についてお答えください。

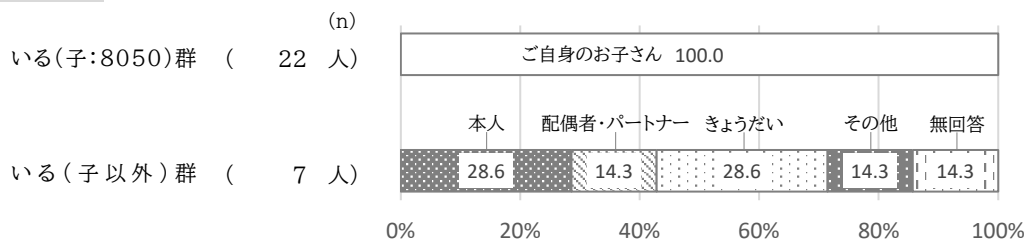
※Q11の設問は、いる(子:8050)群という(子以外)群を定義するために使用

60歳～69歳



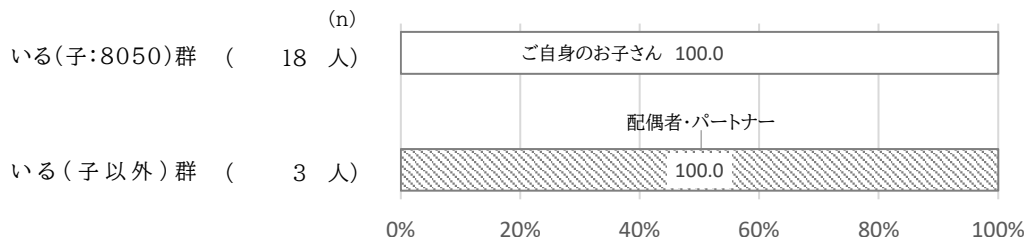
ひきこもり状態の方との続柄は、いる(子以外)群では「本人」が33.3%、「配偶者・パートナー」が33.3%、「その他」が33.3%であった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方との続柄は、いる(子以外)群では「本人」及び「きょうだい」が28.6%、「配偶者・パートナー」及び「その他」が14.3%であった。

80歳～89歳

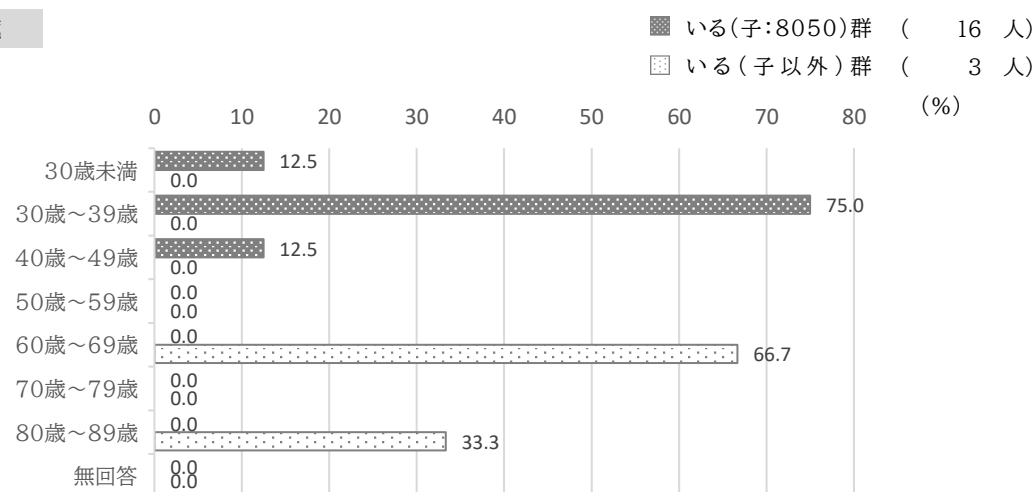


ひきこもり状態の方との続柄は、いる(子以外)群では「配偶者・パートナー」が100.0%であった。

【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

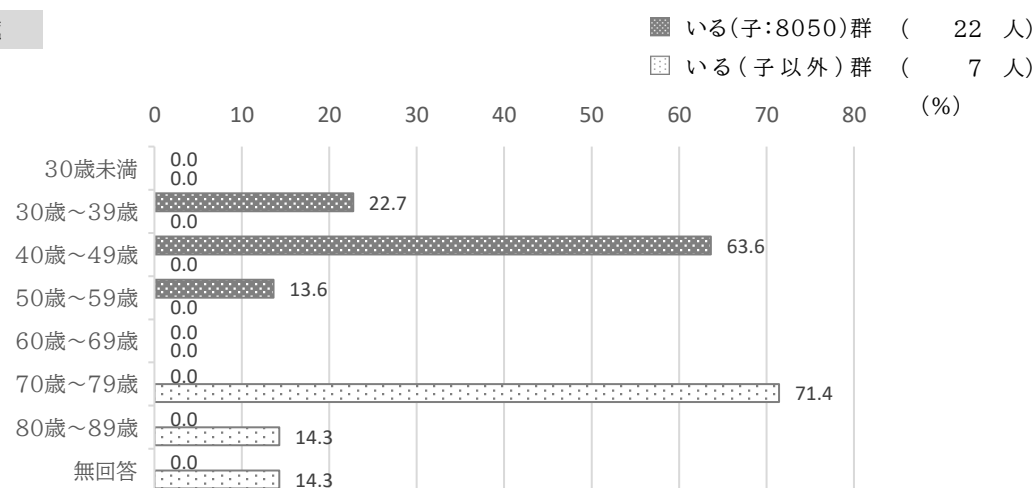
Q12 その方の現在(令和7年9月24日現在)の年齢を教えてください。(数字で具体的に)

60歳～69歳



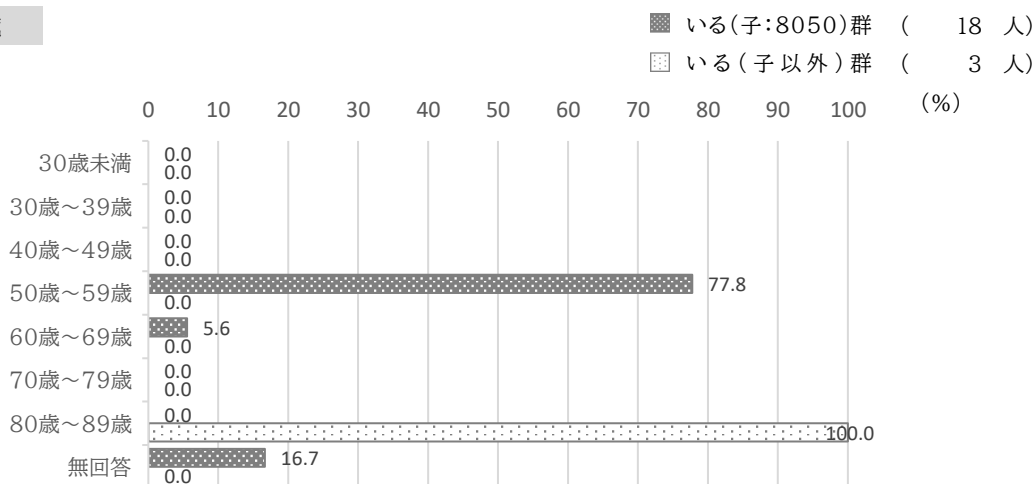
ひきこもり状態の方の年齢は、いる(子:8050)群では「30歳～39歳」が75.0%で最も多く、ついで「30歳未満」及び「40歳～49歳」が12.5%であった。いる(子以外)群では「60歳～69歳」が66.7%で最も多く、ついで「80歳～89歳」が33.3%であった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方の年齢は、いる(子:8050)群では「40歳～49歳」が63.6%で最も多く、ついで「30歳～39歳」が22.7%であった。いる(子以外)群では「70歳～79歳」が71.4%で最も多く、ついで「80歳～89歳」が14.3%であった。

80歳～89歳

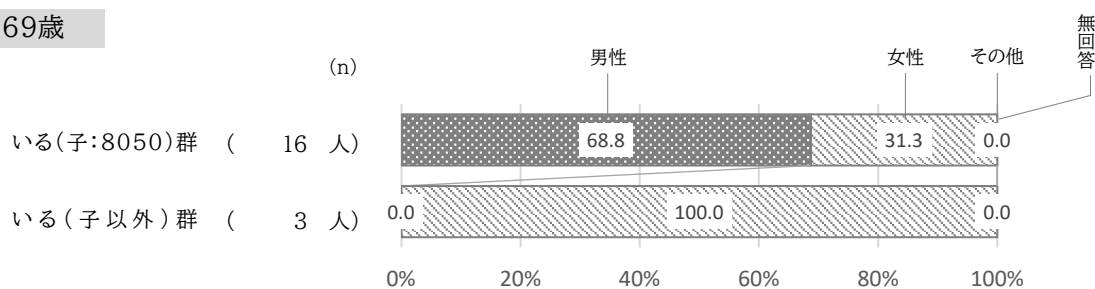


ひきこもり状態の方の年齢は、いる(子:8050)群では「50歳～59歳」が77.8%で最も多く、ついで「60歳～69歳」が5.6%であった。いる(子以外)群では「80歳～89歳」が100.0%で最も多かった。

【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

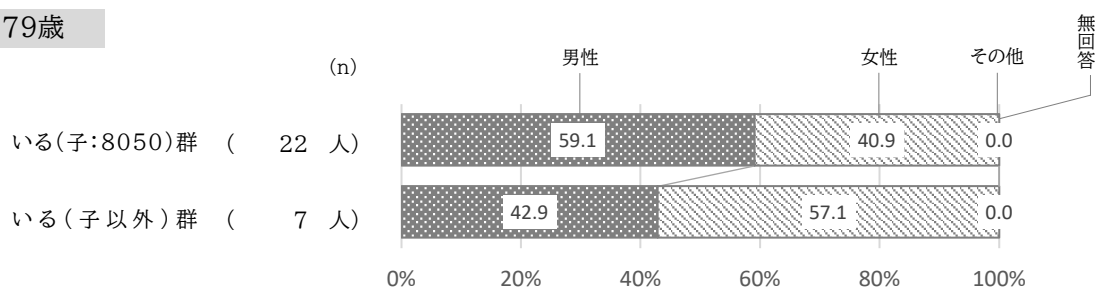
Q13 その方の性別をお答えください。(○はひとつだけ)

60歳～69歳



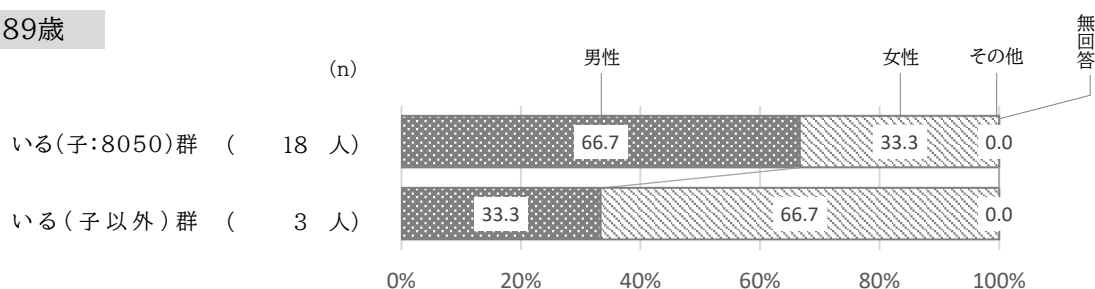
ひきこもり状態の方の性別は、いる(子:8050)群では「男性」が68.8%で「女性」が31.3%であった。いる(子以外)群では「女性」が100.0%であった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方の性別は、いる(子:8050)群では「男性」が59.1%で「女性」が40.9%であった。いる(子以外)群では「男性」が42.9%で「女性」が57.1%であった。

80歳～89歳

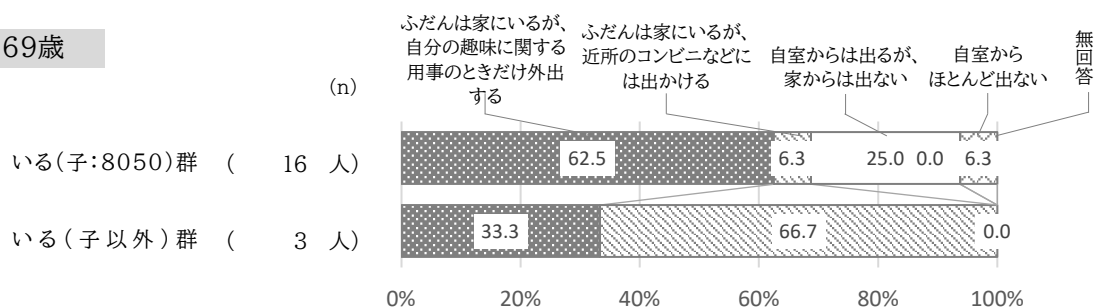


ひきこもり状態の方の性別は、いる(子:8050)群では「男性」が66.7%で「女性」が33.3%であった。いる(子以外)群では「男性」が33.3%で「女性」が66.7%であった。

【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

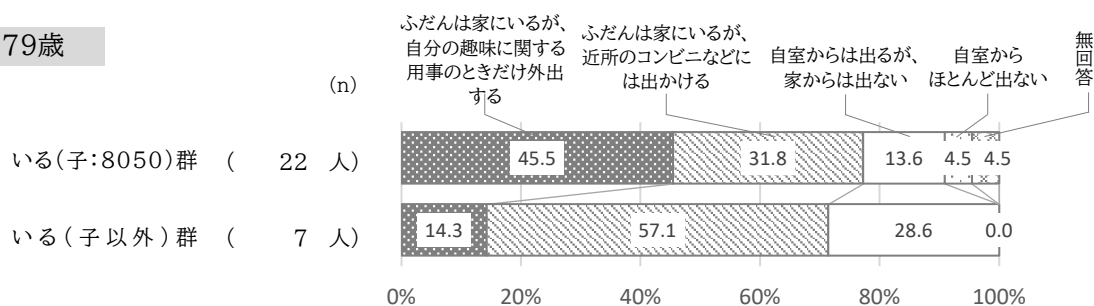
Q14 その方の現在の外出の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

60歳～69歳



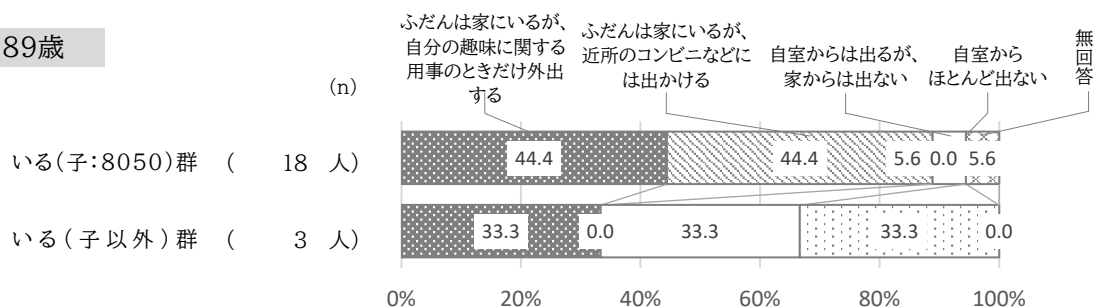
ひきこもり状態の方の外出状況については、最も多いのが、いる(子:8050)群では「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が62.5%、いる(子以外)群では「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が66.7%であった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方の外出状況については、最も多いのが、いる(子:8050)群では「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が45.5%、いる(子以外)群では「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が57.1%であった。

80歳～89歳

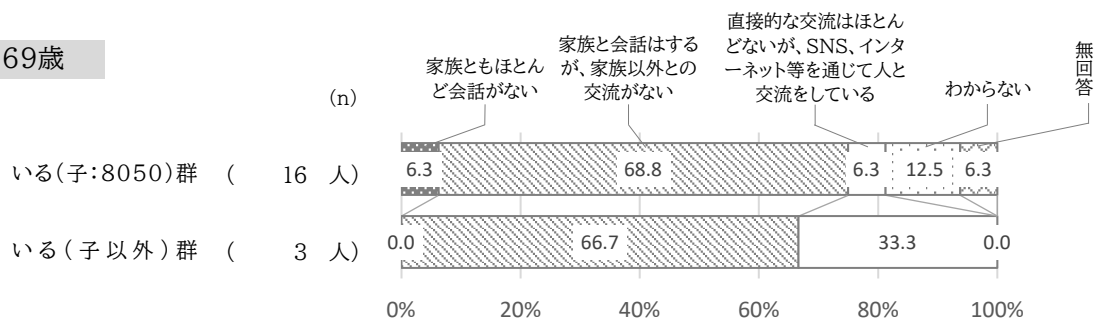


ひきこもり状態の方の外出状況については、いる(子:8050)群では「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」及び「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が44.4%、いる(子以外)群では「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」及び「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」が33.3%で回答が分かれた。

【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

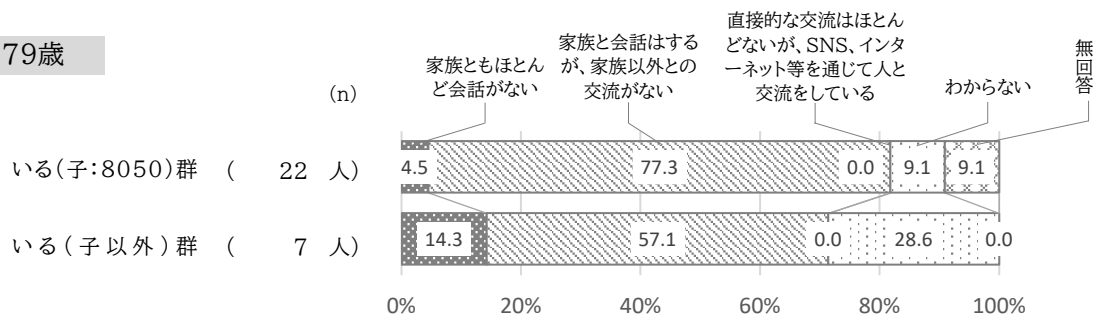
Q15 その方の現在の交流の状況についてお答えください。(○はひとつだけ)

60歳～69歳



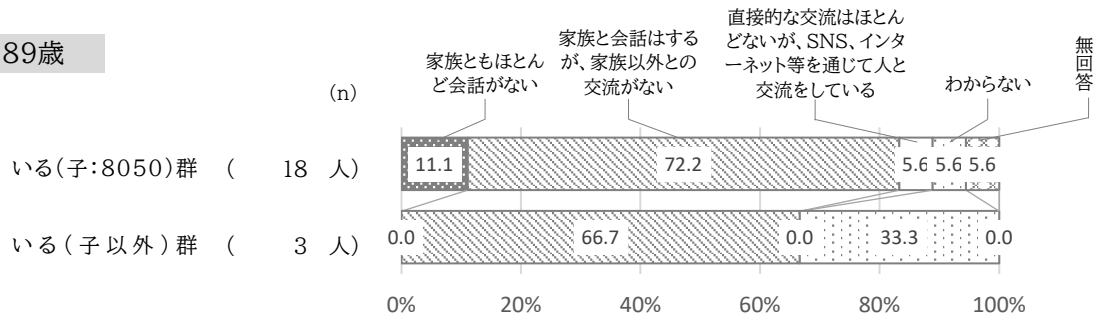
ひきこもり状態の方の交流の状況については、両群で「家族と会話はするが、家族以外との交流がない」が最も多く、いる(子:8050)群では68.8%、いる(子以外)群では66.7%であった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方の交流の状況については、両群で「家族と会話はするが、家族以外との交流がない」が最も多く、いる(子:8050)群では77.3%、いる(子以外)群では57.1%であった。

80歳～89歳

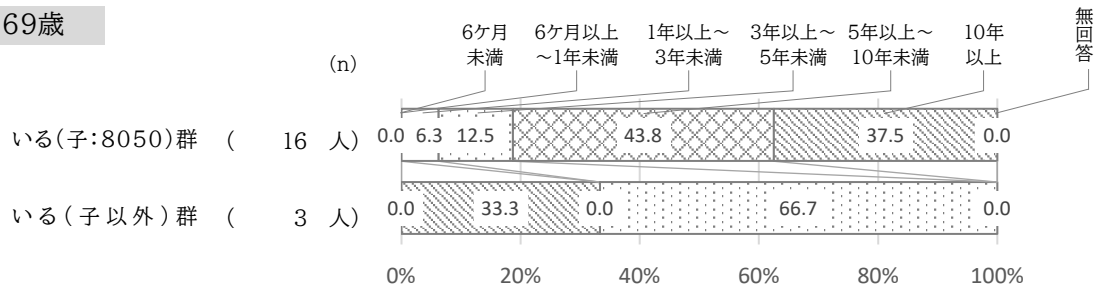


ひきこもり状態の方の交流の状況については、両群で「家族と会話はするが、家族以外との交流がない」が最も多く、いる(子:8050)群では72.2%、いる(子以外)群では66.7%であった。

【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

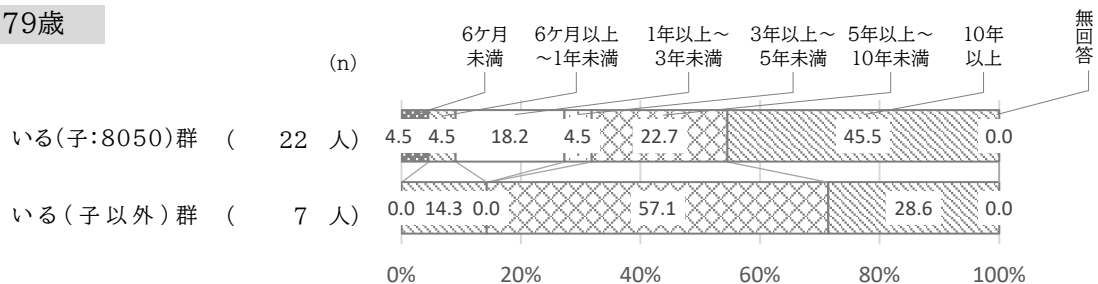
Q16 その方が現在の状態になって、どのぐらい経ちますか。(○はひとつだけ)

60歳～69歳



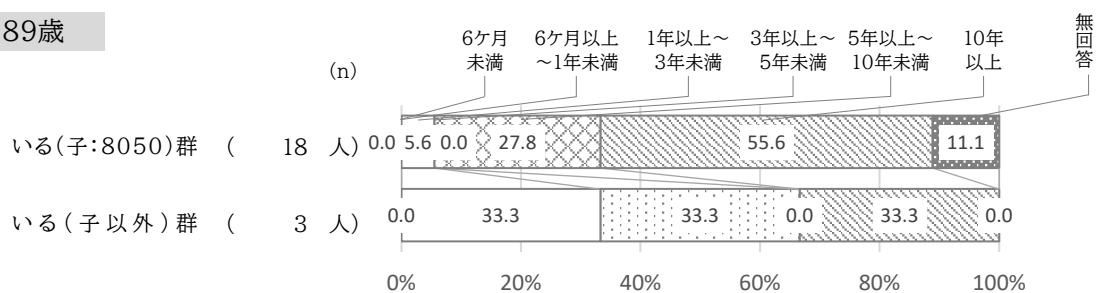
ひきこもり状態の方が現在の状況になってからの期間は、最も多いのが、いる(子:8050)群では「5年以上～10年未満」が43.8%、いる(子以外)群では「3年以上～5年未満」が66.7%であった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方が現在の状況になってからの期間は、最も多いのが、いる(子:8050)群では「10年以上」が45.5%、いる(子以外)群では「5年以上～10年未満」が57.1%であった。

80歳～89歳

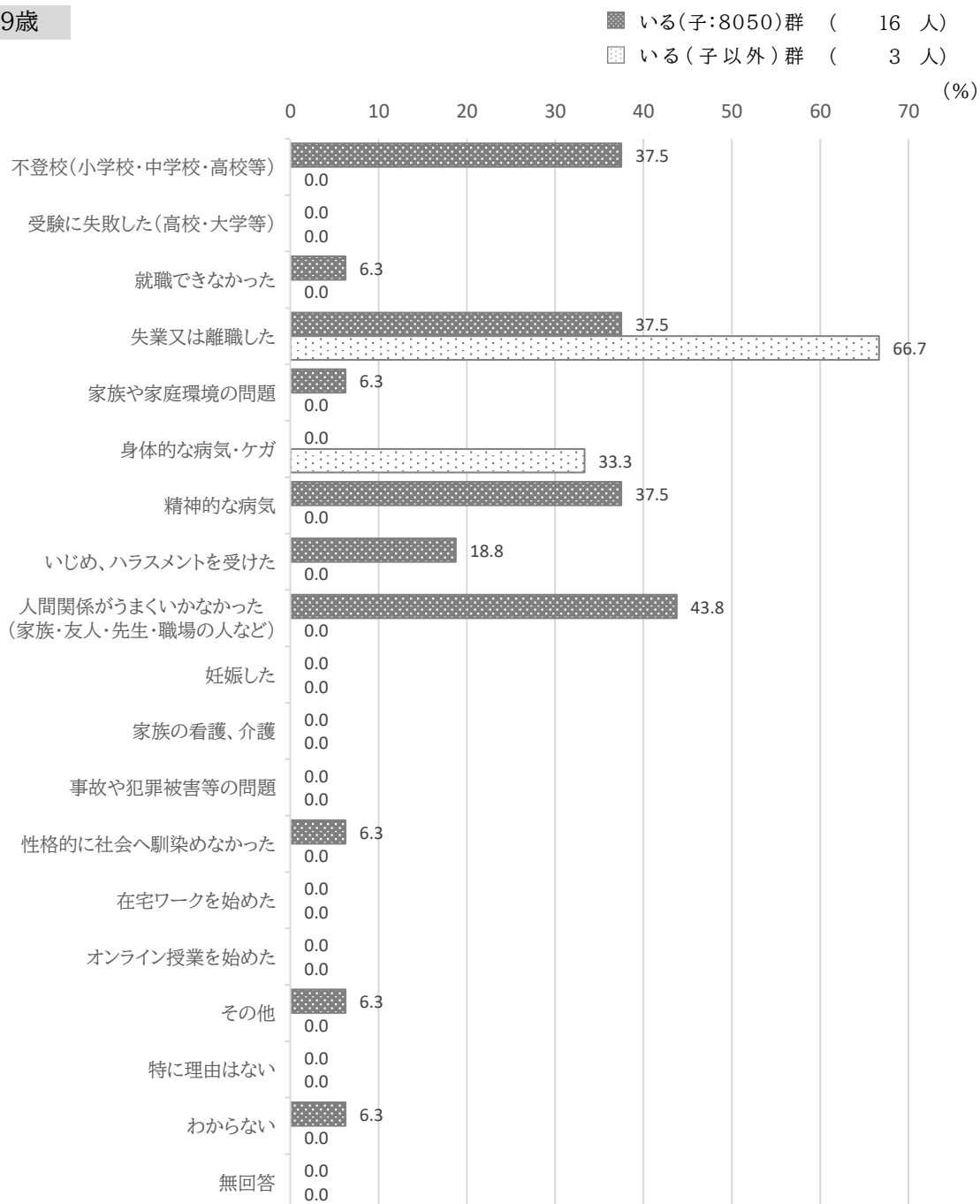


ひきこもり状態の方が現在の状況になってからの期間は、いる(子:8050)群では「10年以上」が55.6%で最も多く、いる(子以外)群では「1年以上～3年未満」及び「3年以上～5年未満」、「10年以上」が33.3%で回答が分かれた。

【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

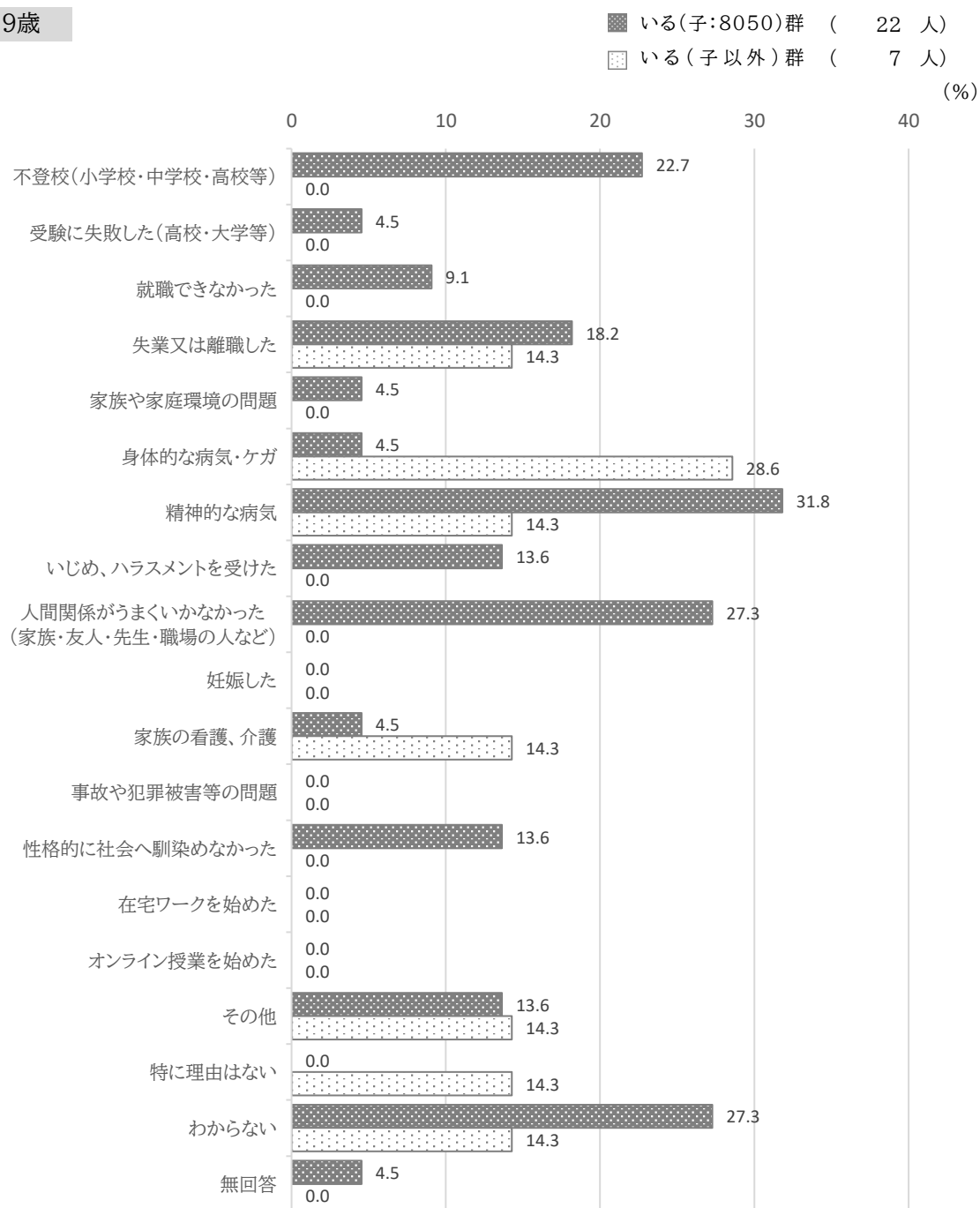
Q17 その方が現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

60歳～69歳



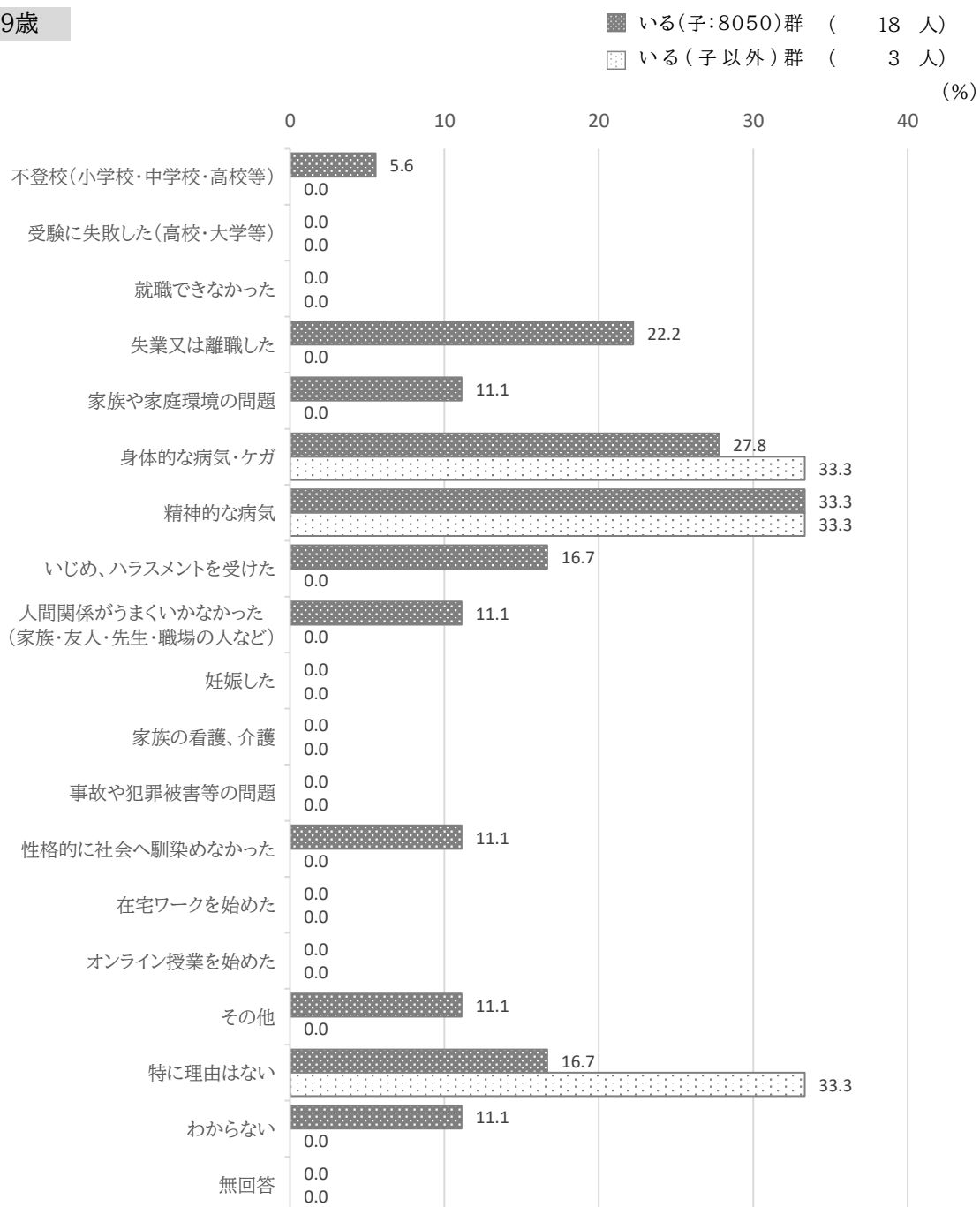
ひきこもり状態の方が現在の状態になったきっかけについては、いる(子:8050)群では「人間関係がうまくいかなかった(家族・友人・先生・職場の人など)」が43.8%で最も多く、ついで「不登校(小学校・中学校・高校等)」及び「失業又は離職した」、「精神的な病気」が37.5%であった。いる(子以外)群では「失業又は離職した」が66.7%で最も多く、ついで「身体的な病気・ケガ」が33.3%であった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方が現在の状態になったきっかけについては、いる(子:8050)群では「精神的な病気」が31.8%で最も多く、ついで「人間関係がうまくいかなかった(家族・友人・先生・職場の人など)」及び「わからない」が27.3%であった。いる(子以外)群では「身体的な病気・ケガ」が28.6%で最も多く、ついで「失業又は離職した」及び「精神的な病気」、「家族の看護、介護」、「その他」、「特に理由はない」、「わからない」が14.3%であった。

80歳～89歳

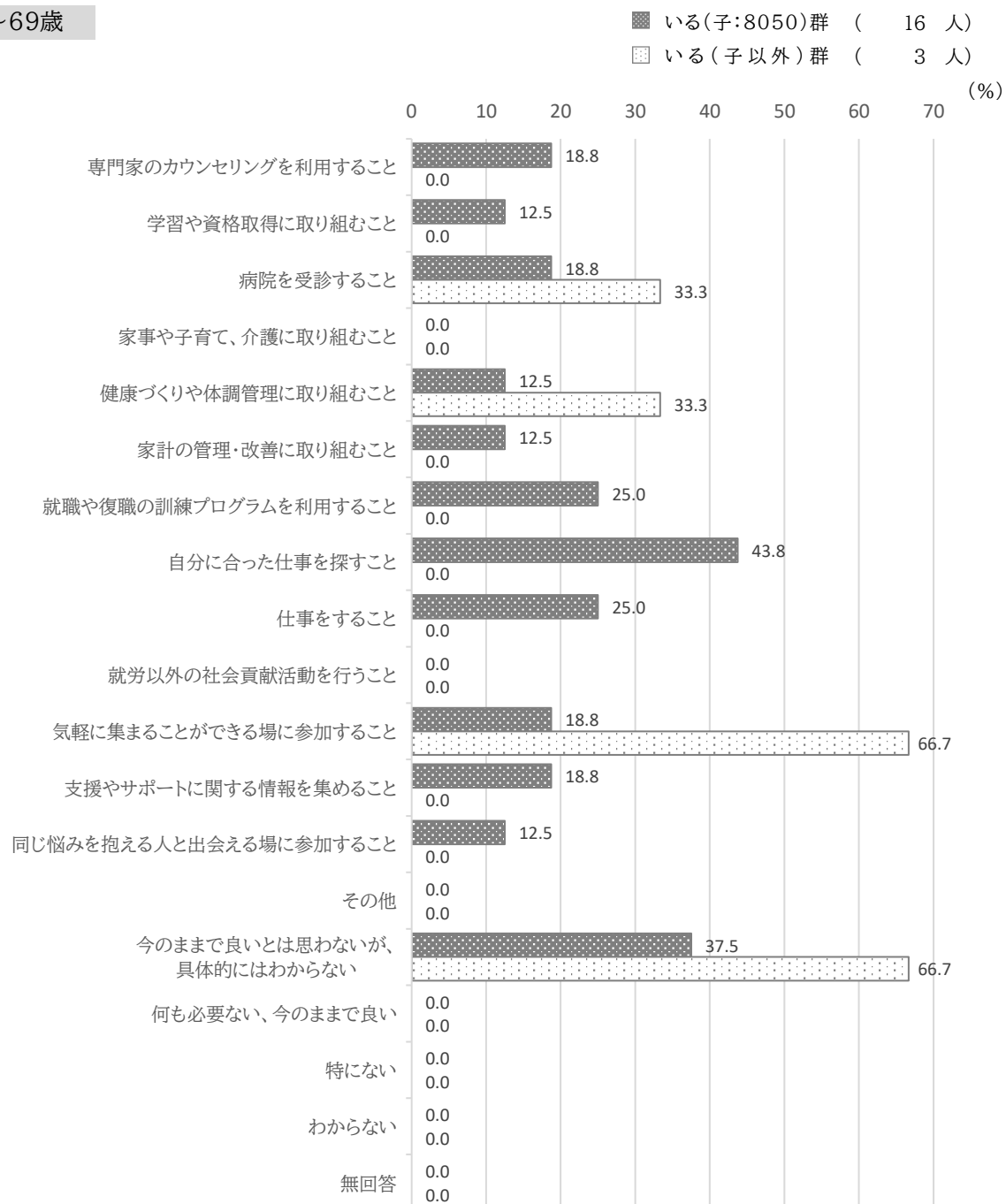


ひきこもり状態の方が現在の状態になったきっかけについては、いる(子:8050)群では「精神的な病気」が33.3%で最も多く、ついで「身体的な病気・ケガ」が27.8%であった。いる(子以外)群では「身体的な病気・ケガ」及び「精神的な病気」、「特に理由はない」が33.3%で回答が分かれた。

【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

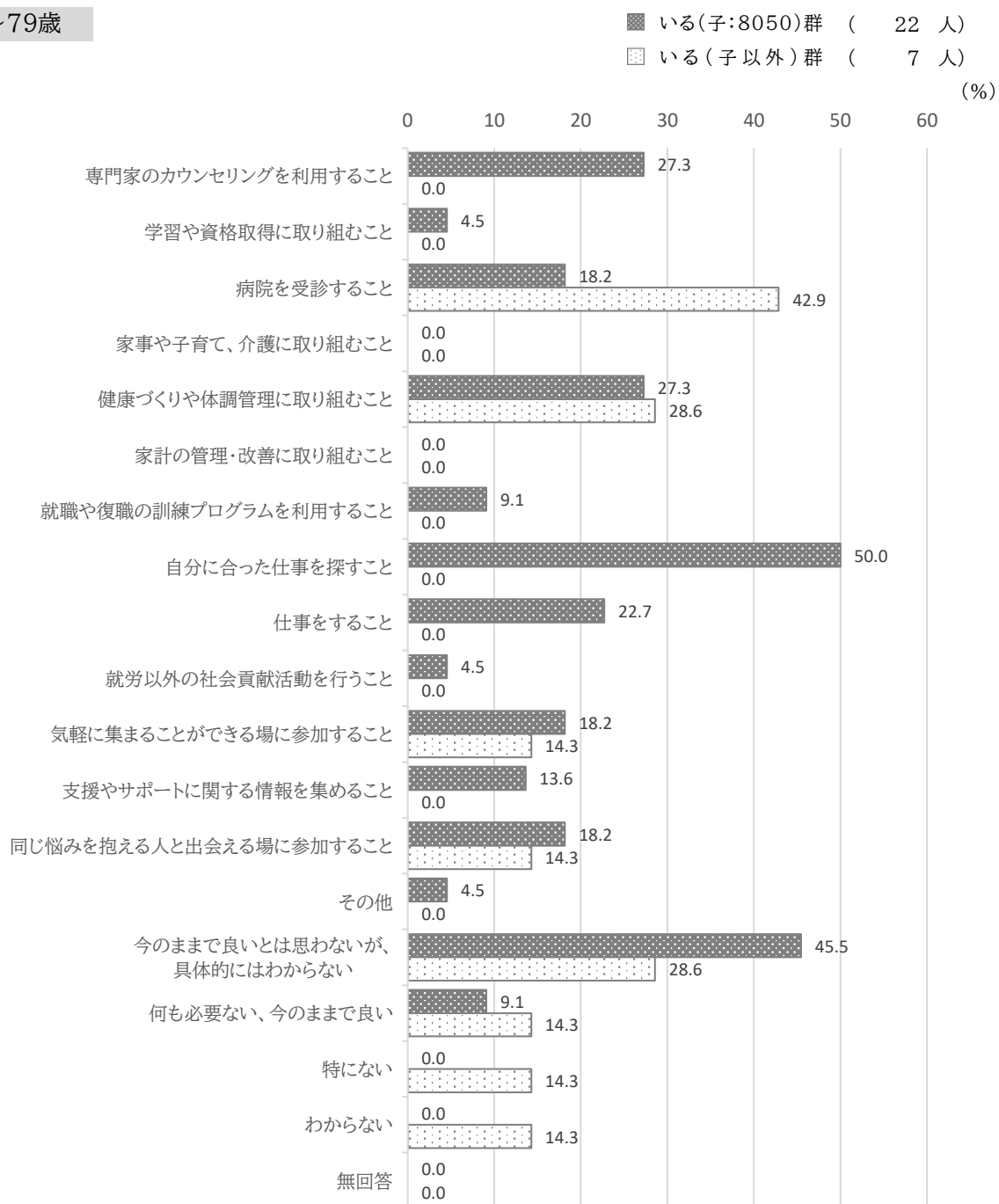
Q18 その方にとってこれから必要と、あなたが思うことはありますか。(○はいくつでも)

60歳～69歳



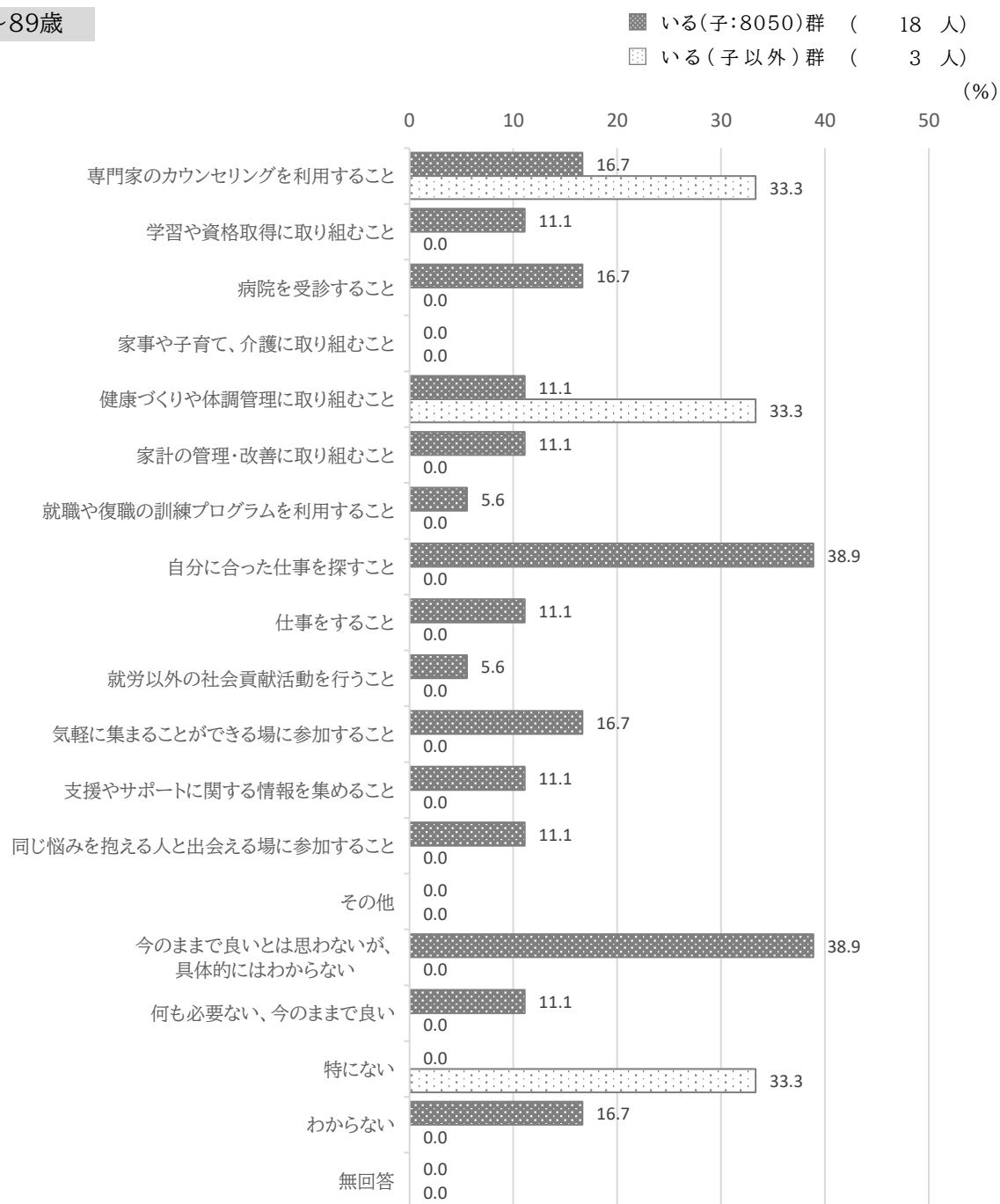
ひきこもり状態の方にとってこれから必要なことは、いる(子:8050)群では「自分に合った仕事を探すこと」が43.8%で最も多く、ついで「今のままで良いとは思わないが、具体的にはわからない」が37.5%であった。いる(子以外)群では「気軽に集まることができる場に参加すること」及び「今のままで良いとは思わないが、具体的にはわからない」が66.7%で最も多かった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方にとってこれから必要なことは、いる(子:8050)群では「自分に合った仕事を探すこと」が50.0%で最も多く、ついで「今のままで良いとは思わないが、具体的にはわからない」が45.5%であった。いる(子以外)群では「病院を受診すること」が42.9%で最も多く、ついで「健康づくりや体調管理に取り組むこと」及び「今のままで良いとは思わないが、具体的にはわからない」が28.6%であった。

80歳～89歳



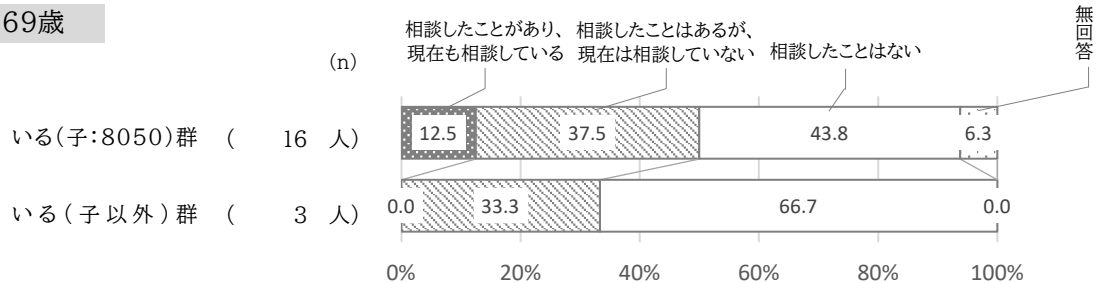
ひきこもり状態の方にとってこれから必要なことは、いる(子:8050)群では「自分に合った仕事を探すこと」及び「今のままで良いとは思わないが、具体的にはわからない」が38.9%で最も多く、いる(子以外)群では「専門家のカウンセリングを利用すること」及び「健康づくりや体調管理に取り組むこと」、「特にな」が33.3%で回答が分かれた。

d. ひきこもり状態にある人の相談に関すること

【Q10で、「1.いる」に○をつけた方のみ回答】

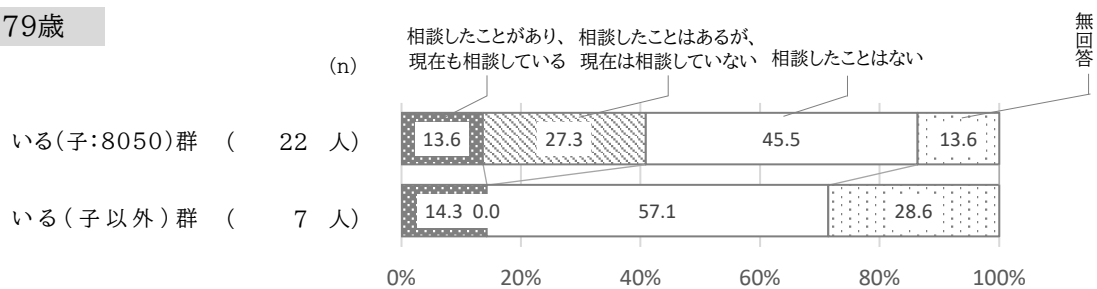
Q19 「仕事や学校などに行かず、家族以外の人とほとんど交流しない状態の方が世帯の中にいること」について、専門機関や医療機関などに相談したことはありますか。(○はひとつだけ)

60歳～69歳



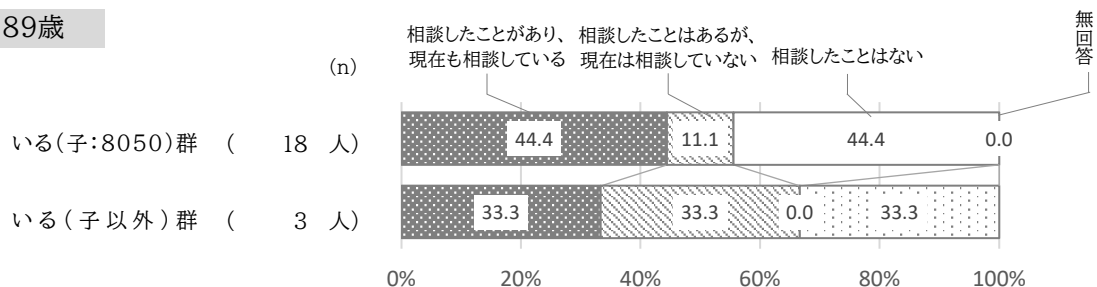
ひきこもり状態の方について、専門機関や医療機関への相談状況は、両群で「相談したことはない」が最も多く、いる(子:8050)群で43.8%、いる(子以外)群で66.7%であった。

70歳～79歳



ひきこもり状態の方について、専門機関や医療機関への相談状況は、両群で「相談したことはない」が最も多く、いる(子:8050)群で45.5%、いる(子以外)群で57.1%であった。

80歳～89歳



ひきこもり状態の方について、専門機関や医療機関への相談状況は、いる(子:8050)群では「相談したことがあり、現在も相談している」及び「相談したことはない」が44.4%で最も多く、いる(子以外)群では「相談したことがあり、現在も相談している」及び「相談したことはあるが、現在は相談していない」が33.3%で回答が分かれた。

【Q19で、2～3に○をつけた方のみ回答】

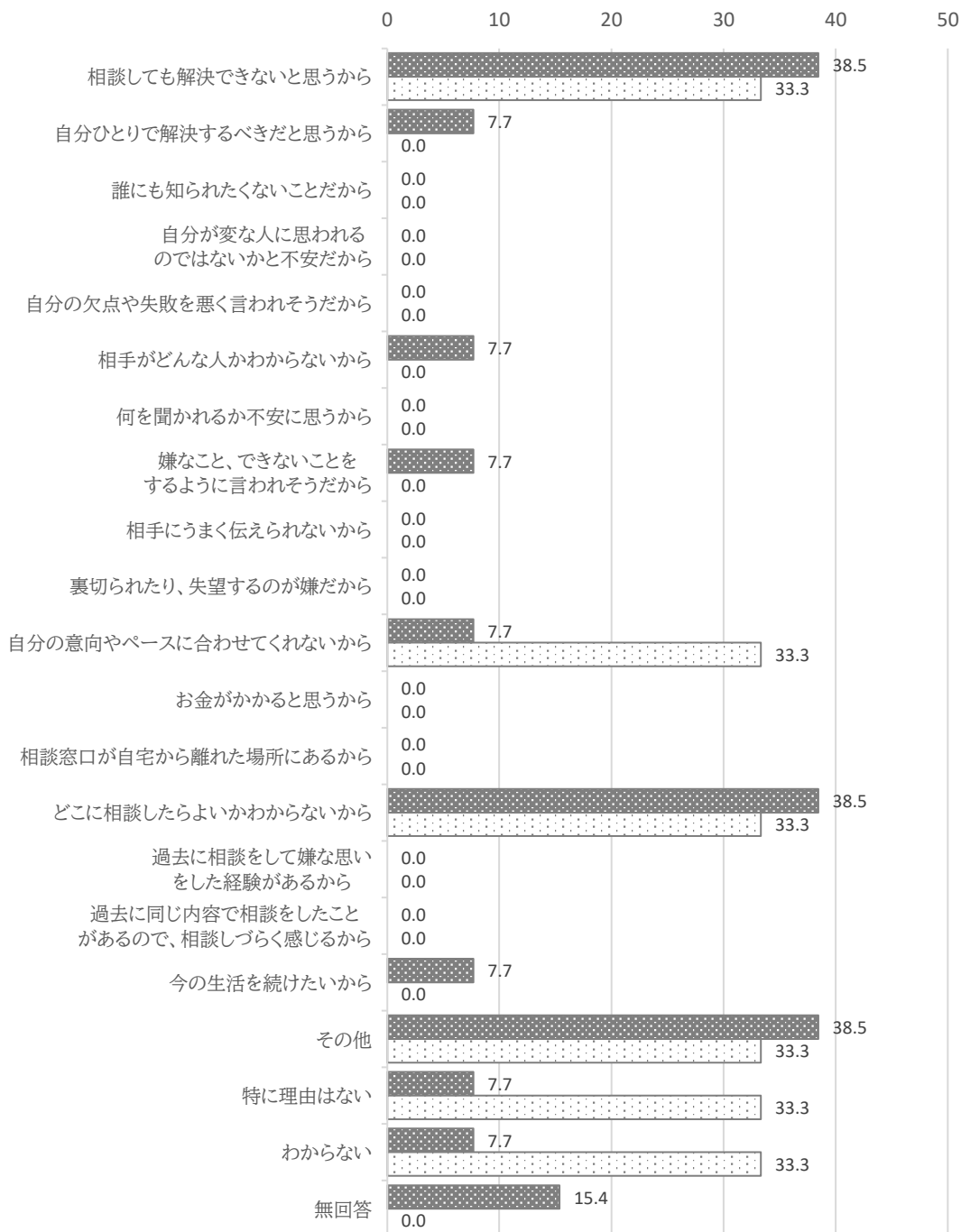
Q20「相談したことはあるが、現在は相談していない」又は「相談したことはない」理由は何ですか。(○はいくつでも)

60歳～69歳

■ いる(子:8050)群 (13 人)

□ いる(子以外)群 (3 人)

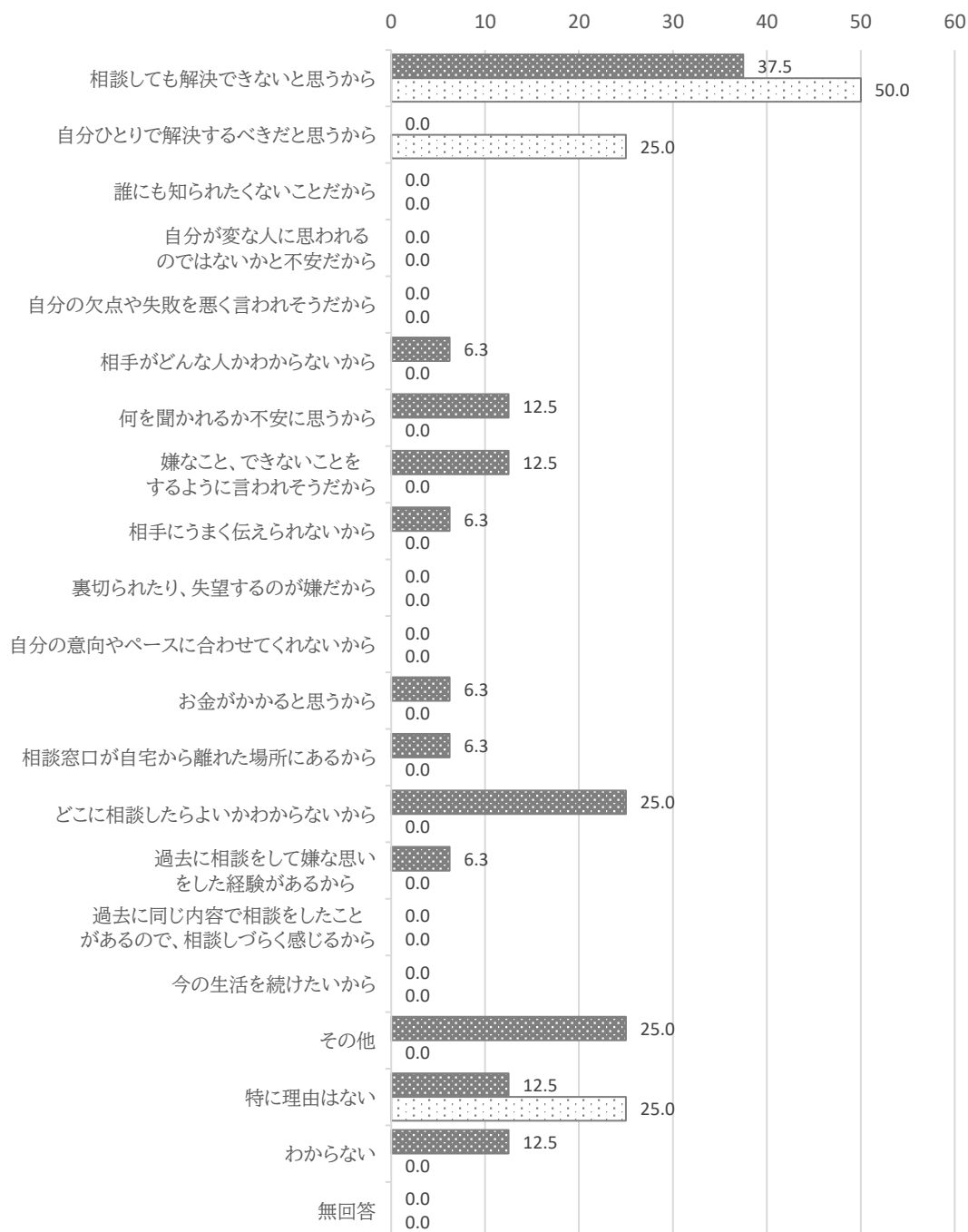
(%)



相談しない理由については、いる(子:8050)群では「相談しても解決できないと思うから」及び「どこに相談したらよいかわからないから」、「その他」が38.5%であった。いる(子以外)群では「相談しても解決できないと思うから」及び「自分の意向やペースに合わせてくれないから」、「どこに相談したらよいかわからないから」、「その他」、「特に理由はない」、「わからない」が33.3%で回答が分かれた。

70歳～79歳

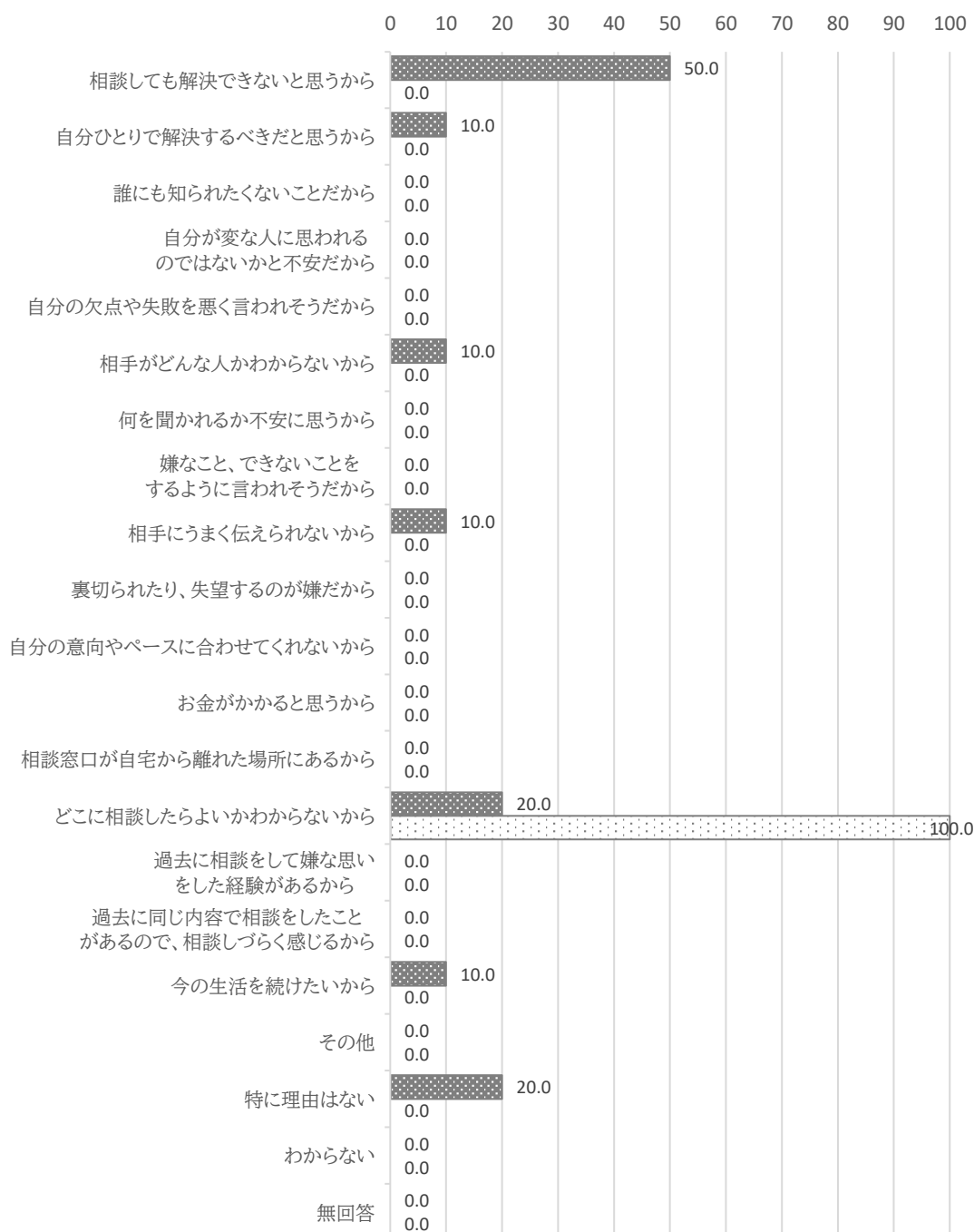
■ いる(子:8050)群 (16 人)
 □ いる(子以外)群 (4 人)
 (%)



相談しない理由については、いる(子:8050)群では「相談しても解決できないと思うから」が37.5%で最も多く、ついで「どこに相談したらよいかわからないから」、「その他」が25.0%であった。いる(子以外)群では「相談しても解決できないと思うから」が50.0%で最も多く、ついで「自分ひとりで解決するべきだと思うから」及び「特に理由はない」が25.0%であった。

80歳～89歳

■ いる(子:8050)群 (10 人)
 ▨ いる(子以外)群 (1 人)
 (%)



相談しない理由については、いる(子:8050)群では「相談しても解決できないと思うから」が50.0%で最も多く、いる(子以外)群では「どこに相談したらよいかわからないから」が最も多かった。

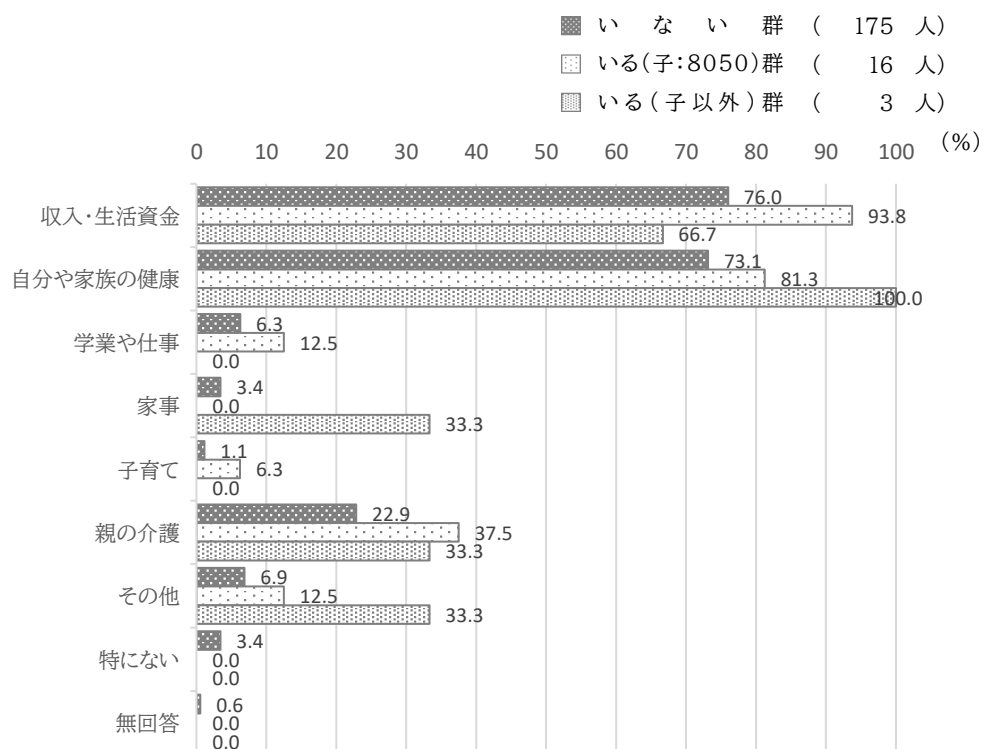
その他の内容
 (抜 粋)

年代	内容
すべて	本人が病院に通院治療中のため(2件) 相談する程の事ではないので 少し良い方向にある為、もう少し様子をみようと思っている為 色々とした時期もあったが、どこに相談していいのか困った。 コロナ禍の影響で行きずらくなってしまった 本人の気持ちと相談中

e. 生活の困りごとなどについての相談・支援に関すること

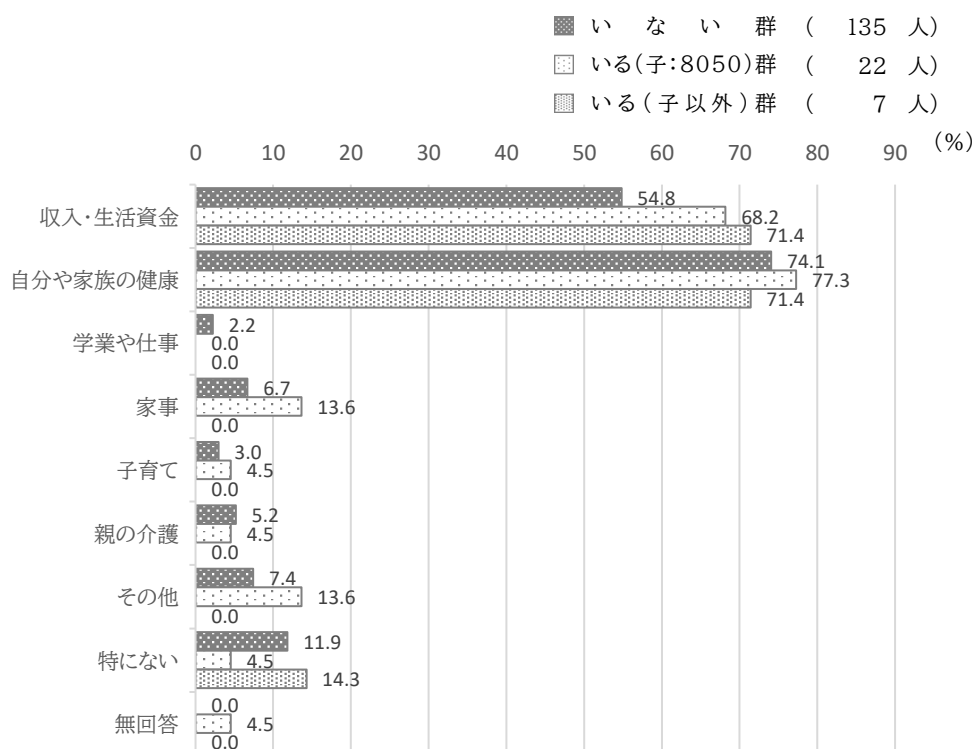
Q21 あなたが将来について考えたとき、心配なことや悩みに思う事柄は何ですか。(〇はいくつでも)

60歳～69歳



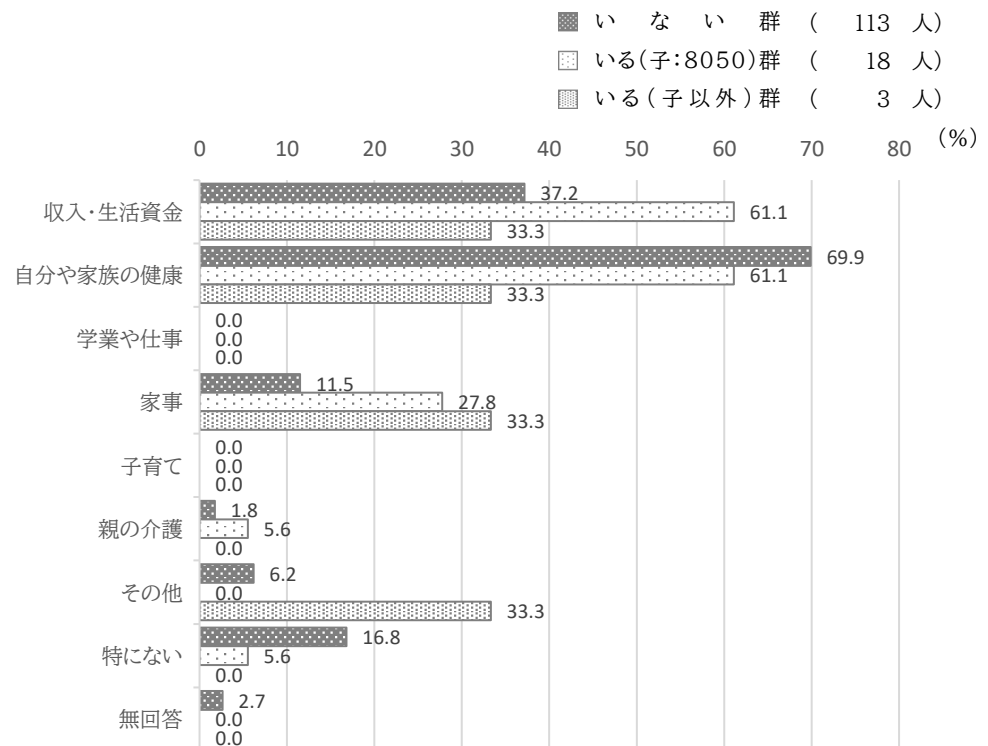
将来の心配なことや悩みに思う事柄は、いない群では「収入・生活資金」が76.0%で最も多く、ついで「自分や家族の健康」が73.1%であった。いる(子:8050)群では「収入・生活資金」が93.8%で最も多く、ついで「自分や家族の健康」が81.3%であった。いる(子以外)群では「自分や家族の健康」が100.0%で最も多く、ついで「収入・生活資金」が66.7%であった。

70歳～79歳



将来の心配なことや悩みに思う事柄は、いない群では「自分や家族の健康」が74.1%で最も多く、ついで「収入・生活資金」が54.8%であった。いる(子:8050)群では「自分や家族の健康」が77.3%で最も多く、ついで「収入・生活資金」が68.2%であった。いる(子以外)群では「収入・生活資金」及び「自分や家族の健康」が71.4%で最も多かった。

80歳～89歳



将来の心配なことや悩みに思う事柄は、いない群では「自分や家族の健康」が69.9%で最も多く、ついで「収入・生活資金」が37.2%であった。いる(子:8050)群では「収入・生活資金」及び「自分や家族の健康」が61.1%で最も多かった。いる(子以外)群では「収入・生活資金」及び「自分や家族の健康」、「家事」、「その他」が33.3%で回答が分かれた。

その他の内容

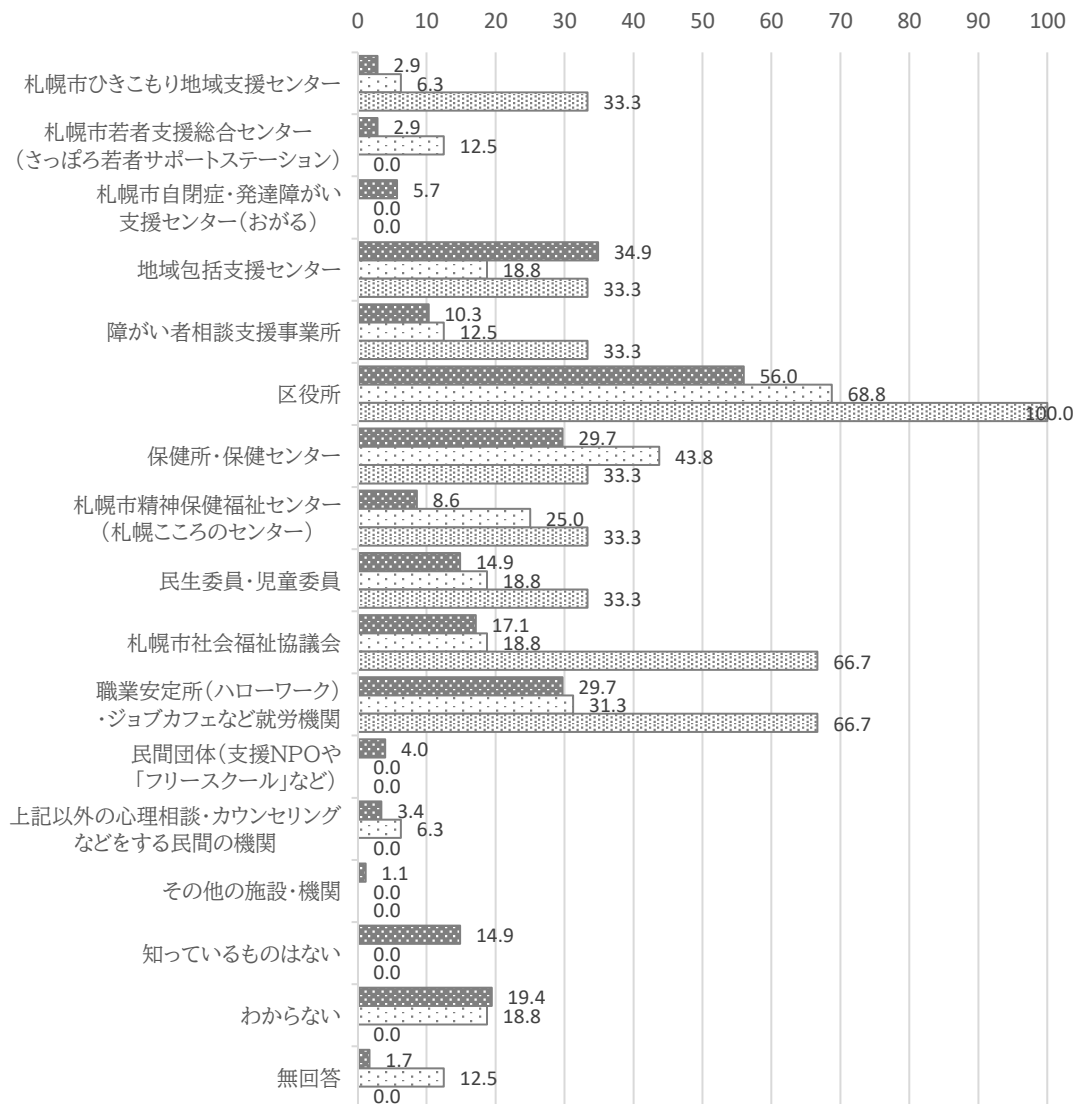
年代	内容
すべて	子供の将来(8件) 自分が居なくなった時の子の生活(4件) 子供の結婚(3件) 子供の仕事(2件) 子供の自立(2件) 老後の生活(2件) 家の老朽化、貸家維持(2件) 家の存続、墓じまい(2件) 相続(2件) 障害者となった子の「親亡き後」問題 障害児の介護 子供の病気 年金だけで生活できるか不安 いつまで働けばいい？ 老人ホームさがし デイサービス、ショートステイ等へ全く行く事を拒否 買物 話しづらい

Q22 生活や困りごとについて相談できる窓口として、あなたが知っている窓口・相談機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

60歳～69歳

■ い ない 群 (175 人)
 ▨ いる(子:8050)群 (16 人)
 ▩ いる(子以外)群 (3 人)

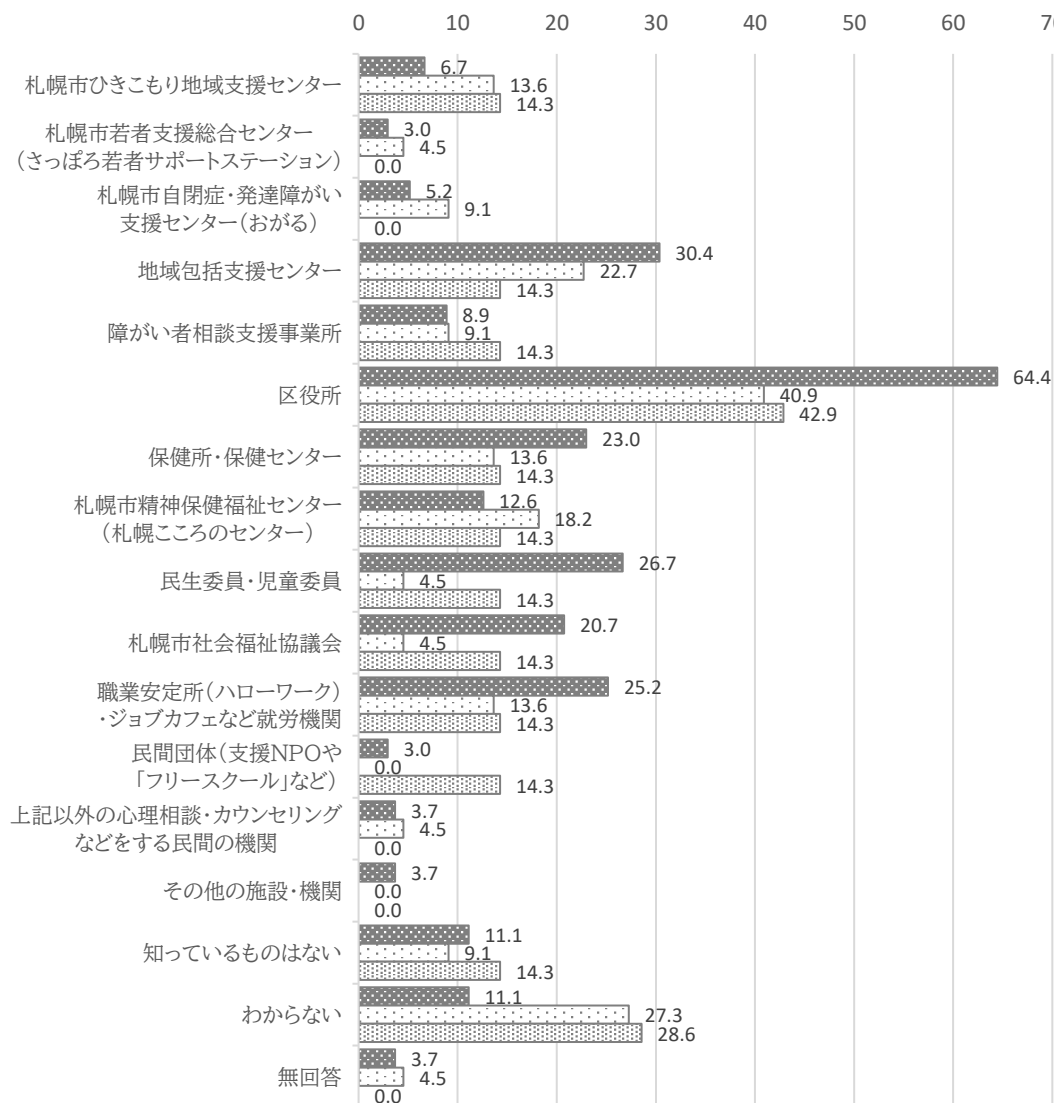
(%)



知っている生活や困りごとについての相談窓口は、いない群では「区役所」が56.0%で最も多く、ついで「地域包括支援センター」が34.9%であった。いる(子:8050)群では「区役所」が68.8%で最も多く、ついで「保健所・保健センター」が43.8%であった。いる(子以外)群では「区役所」が100.0%で最も多く、ついで「札幌市社会福祉協議会」及び「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェなど就労機関」が66.7%であった。

70歳～79歳

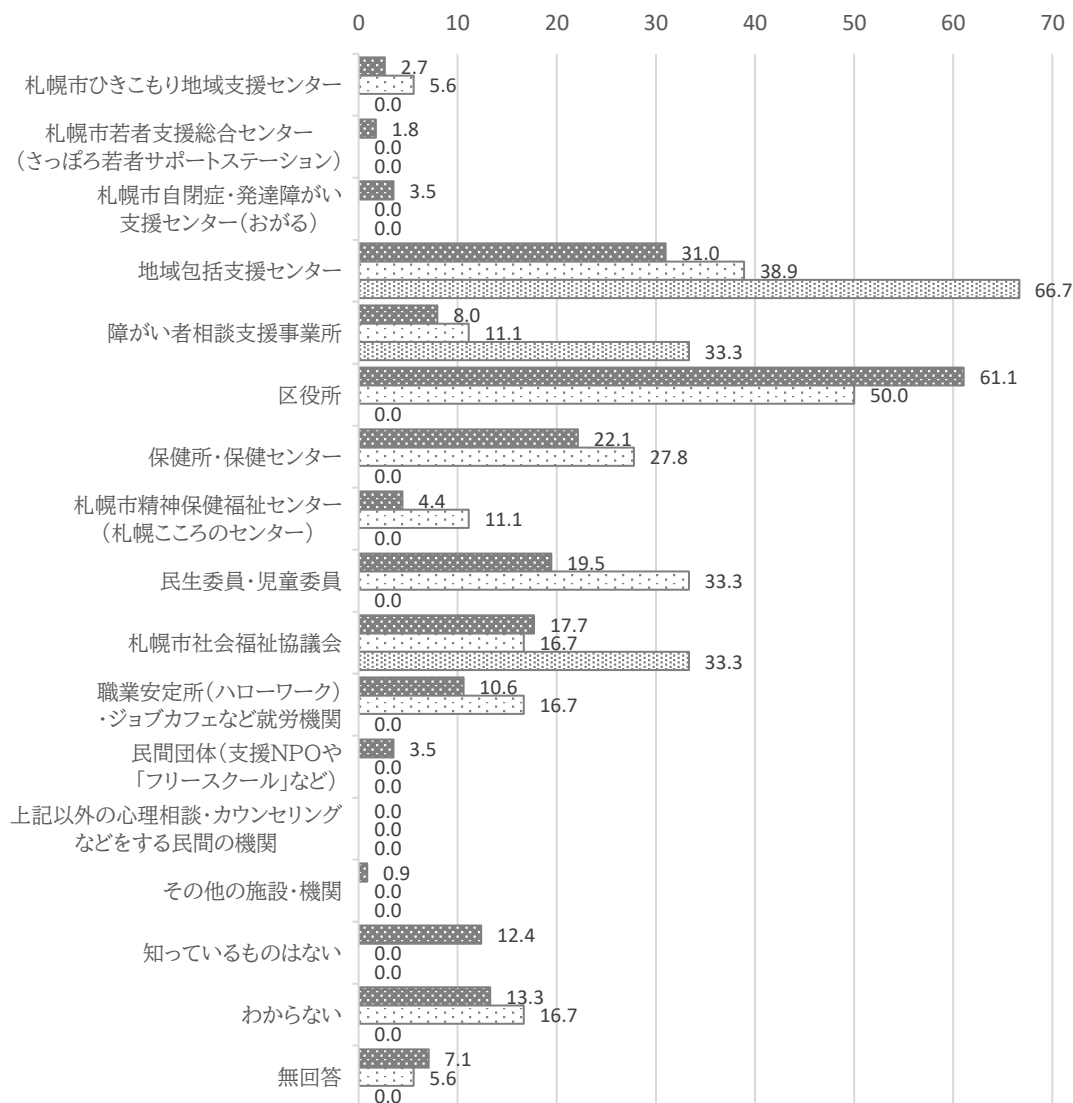
■ い な い 群 (135 人)
 ▨ いる(子:8050)群 (22 人)
 ▩ いる(子以外)群 (7 人)
 (%)



知っている生活や困りごとについての相談窓口は、いない群では「区役所」が64.4%で最も多く、ついで「地域包括支援センター」が30.4%であった。いる(子:8050)群では「区役所」が40.9%で最も多く、ついで「わからない」が27.3%であった。いる(子以外)群では「区役所」が42.9%で最も多く、ついで「わからない」が28.6%であった。

80歳～89歳

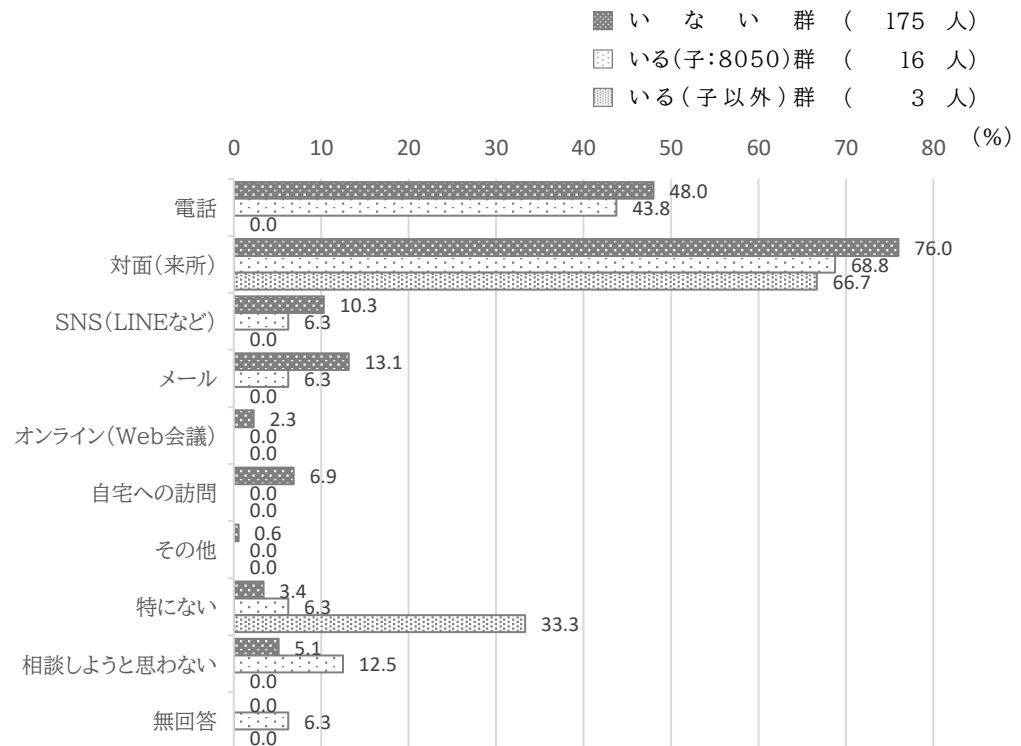
■ い な い 群 (113 人)
 ▨ いる(子:8050)群 (18 人)
 ▩ いる(子以外)群 (3 人)
 (%)



知っている生活や困りごとについての相談窓口は、いない群では「区役所」が61.1%で最も多く、ついで「地域包括支援センター」が31.0%であった。いる(子:8050)群では「区役所」が50.0%で最も多く、ついで「地域包括支援センター」が38.9%であった。いる(子以外)群では「地域包括支援センター」が66.7%で最も多く、ついで「障がい者相談支援事業所」及び「札幌市社会福祉協議会」が33.3%であった。

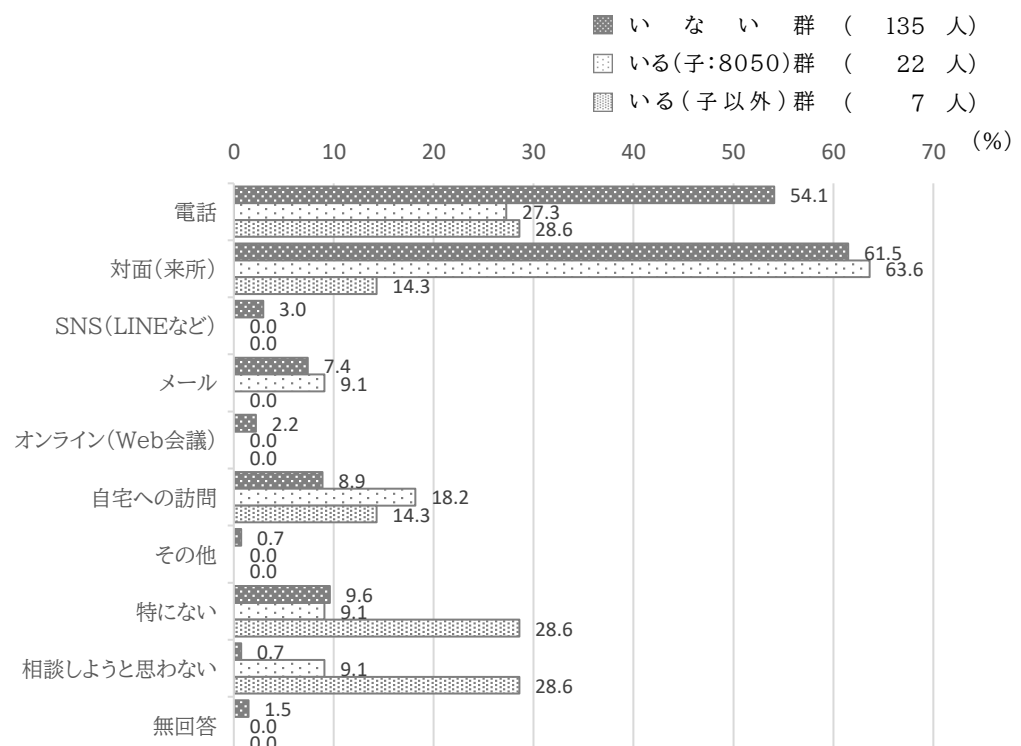
Q23 あなたが悩みや困りごとを抱えて、行政機関(区役所などの窓口)に相談しようと思ったとき、どのような方法で相談したいですか。(〇はいくつでも)

60歳～69歳



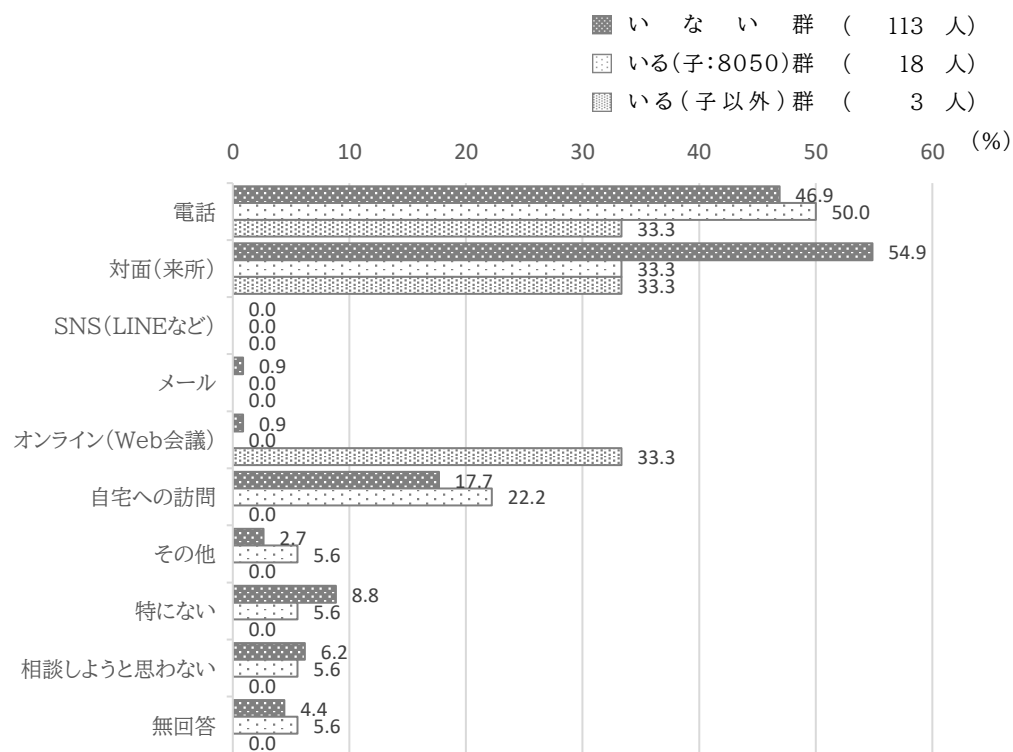
行政機関に相談しようとする時の方法は、全群で「対面(来所)」が最も多く、いない群では76.0%、いる(子:8050)群では68.8%、いる(子以外)群では66.7%であった。

70歳～79歳



行政機関に相談しようとする時の方法は、いない群では「対面(来所)」が61.5%で最も多く、ついで「電話」が54.1%であった。いる(子:8050)群では「対面(来所)」が63.6%で最も多く、ついで「電話」が27.3%であった。いる(子以外)群では「電話」及び「特にない」、「相談しようと思わない」が28.6%で回答が分かれた。

80歳～89歳

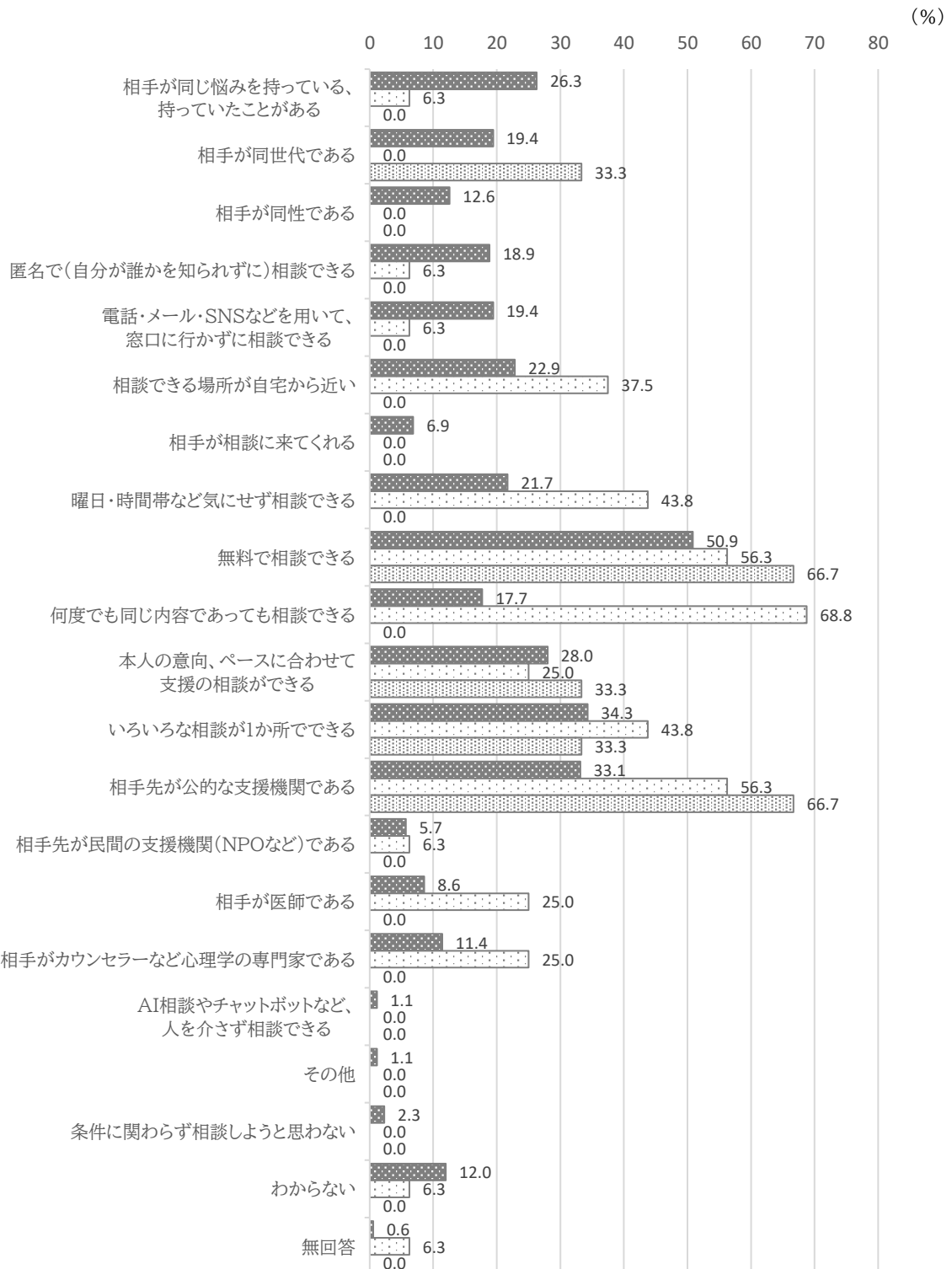


行政機関に相談しようとする時の方法は、いない群では「対面(来所)」が54.9%で最も多く、ついで「電話」が46.9%であった。いる(子:8050)群では「電話」が50.0%で最も多く、ついで「対面(来所)」が33.3%であった。いる(子以外)群では「電話」及び「対面(来所)」、「オンライン(Web会議)」が33.3%で回答が分かれた。

Q24 あなたは困りごとについて、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

60歳～69歳

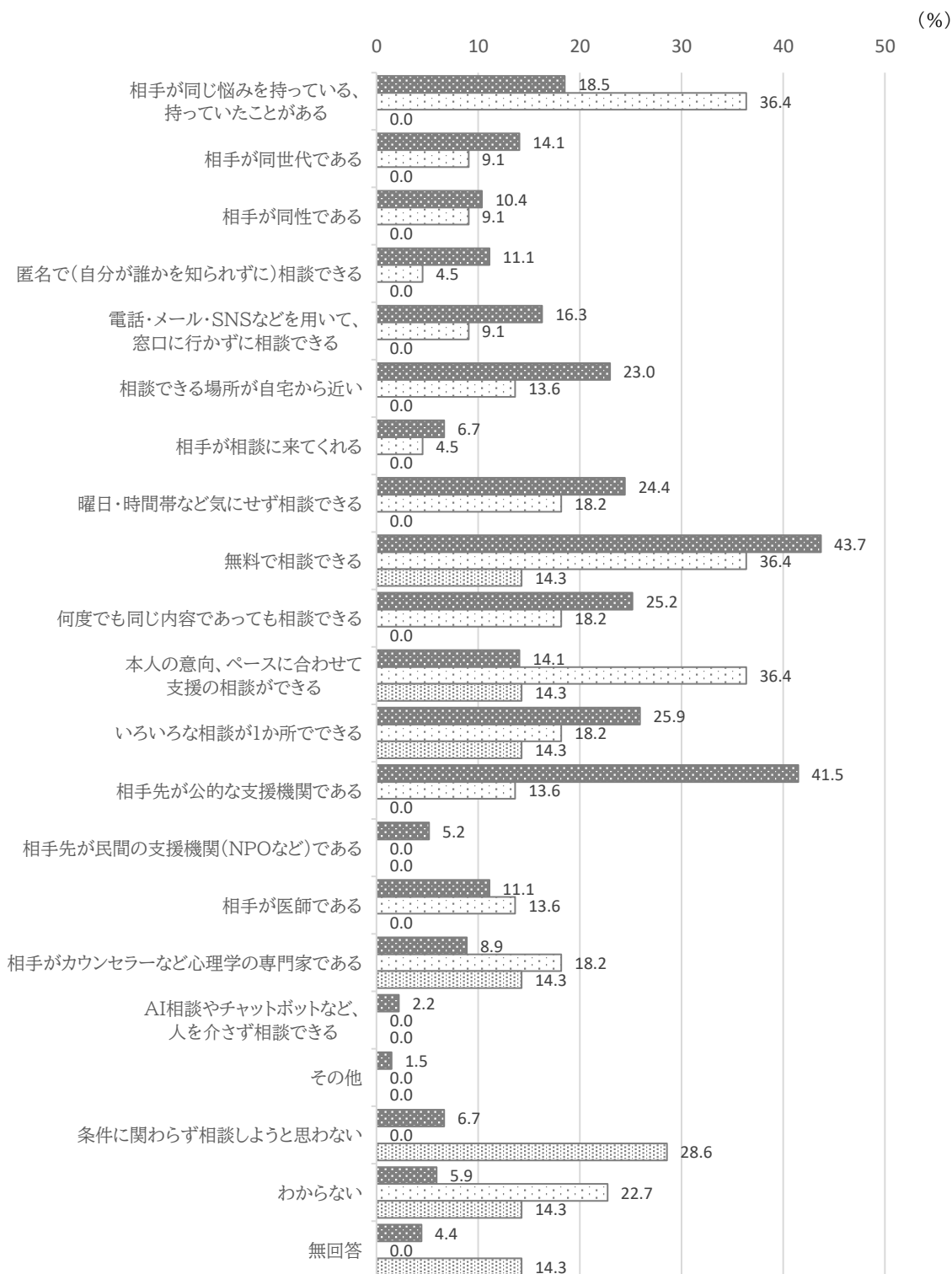
■ い ない 群 (175 人)
 ▨ いる(子:8050)群 (16 人)
 ▩ いる(子以外)群 (3 人)



家族や知り合い以外に相談したい場所については、いない群では「無料で相談できる」が50.9%で最も多く、ついで「いろいろな相談が1か所で行える」が34.3%であった。いる(子:8050)群では「何度でも同じ内容であっても相談できる」が68.8%で最も多く、いる(子以外)群では「無料で相談できる」及び「相手先が公的な支援機関である」が66.7%で最も多かった。

70歳～79歳

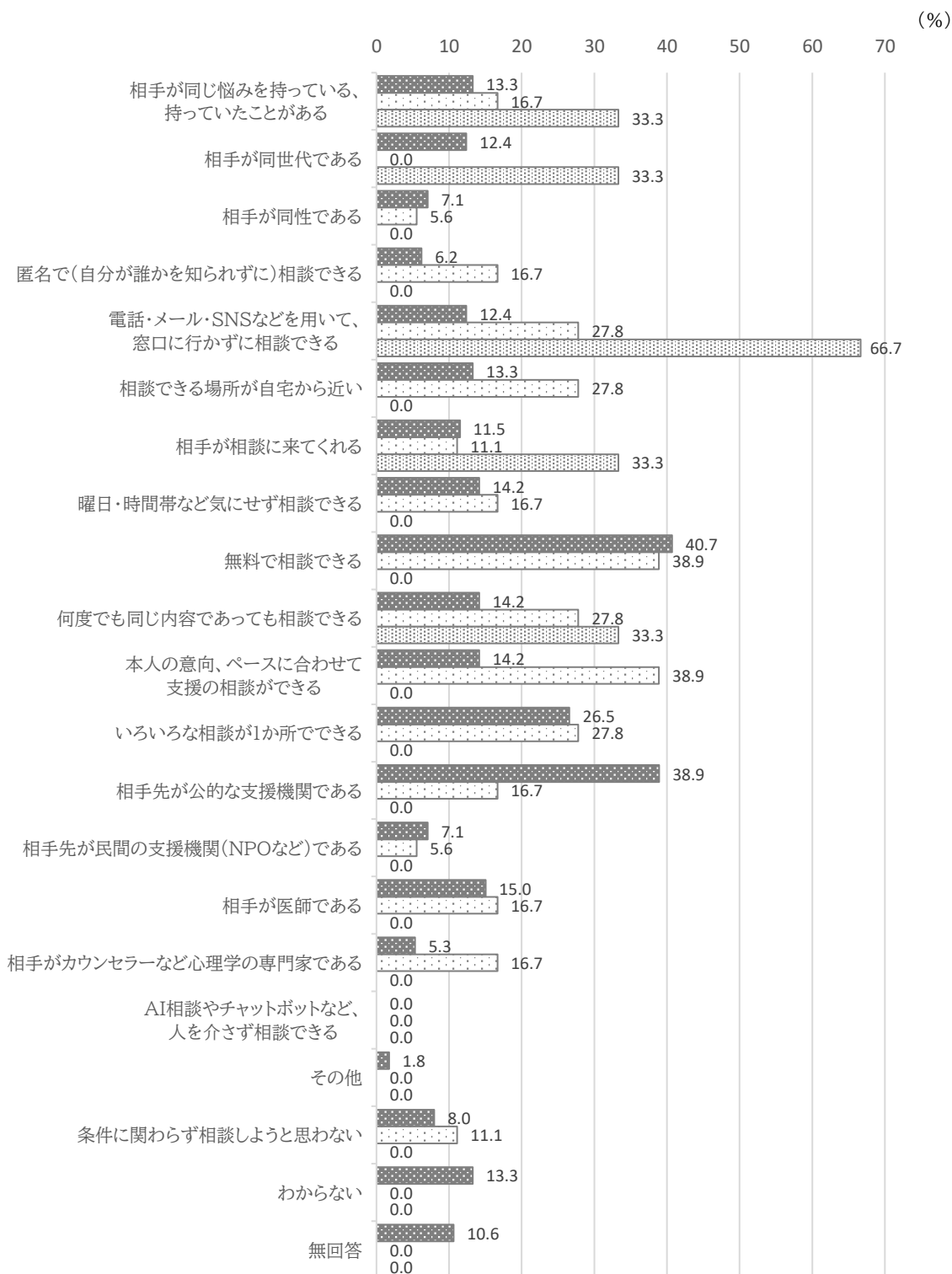
■ い ない 群 (135 人)
 ▨ いる(子:8050)群 (22 人)
 ▩ いる(子以外)群 (7 人)



家族や知り合い以外に相談したい場所については、いない群では「無料で相談できる」が43.7%で最も多く、ついで「相手先が公的な支援機関である」が41.5%であった。いる(子:8050)群では「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」及び「無料で相談できる」、「本人の意向、ペースに合わせて支援の相談ができる」が36.4%で最も多く、いる(子以外)群では「条件に関わらず相談しようと思わない」が28.6%で最も多かった。

80歳～89歳

■ い ない 群 (113 人)
 ▨ いる(子:8050)群 (18 人)
 ▩ いる(子以外)群 (3 人)

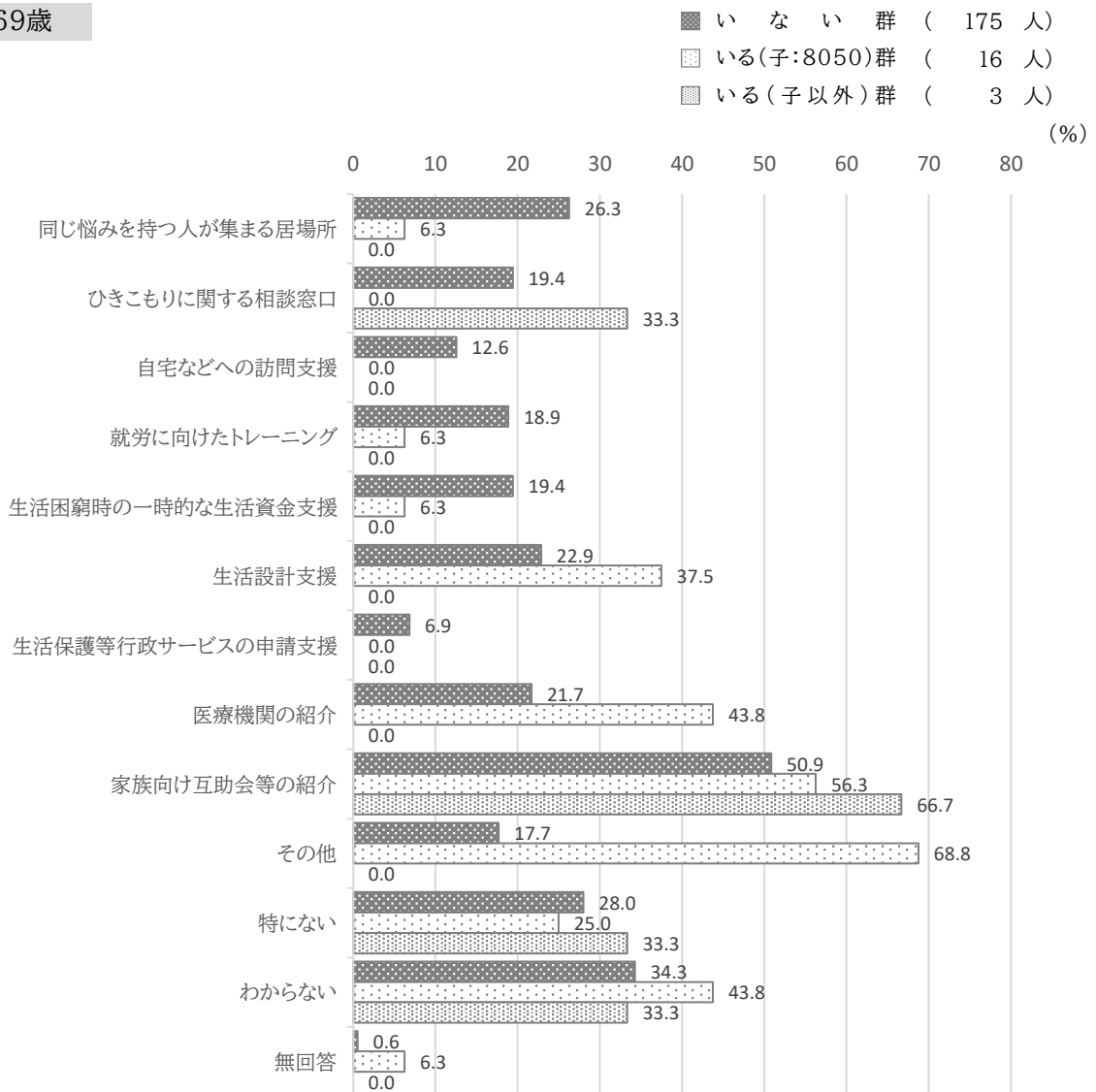


家族や知り合い以外に相談したい場所については、いない群では「無料で相談できる」が40.7%で最も多く、ついで「相手先が公的な支援機関である」が38.9%であった。いる(子:8050)群では「無料で相談できる」及び「本人の意向、ペースに合わせて支援の相談ができる」が38.9%で最も多く、いる(子以外)群では「電話・メール・SNSなどを用いて、窓口に行かずに相談できる」が66.7%で最も多かった。

f. 8050問題で悩む方々への支援等について

Q25 8050問題で悩む方々に対して、どのような支援等があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

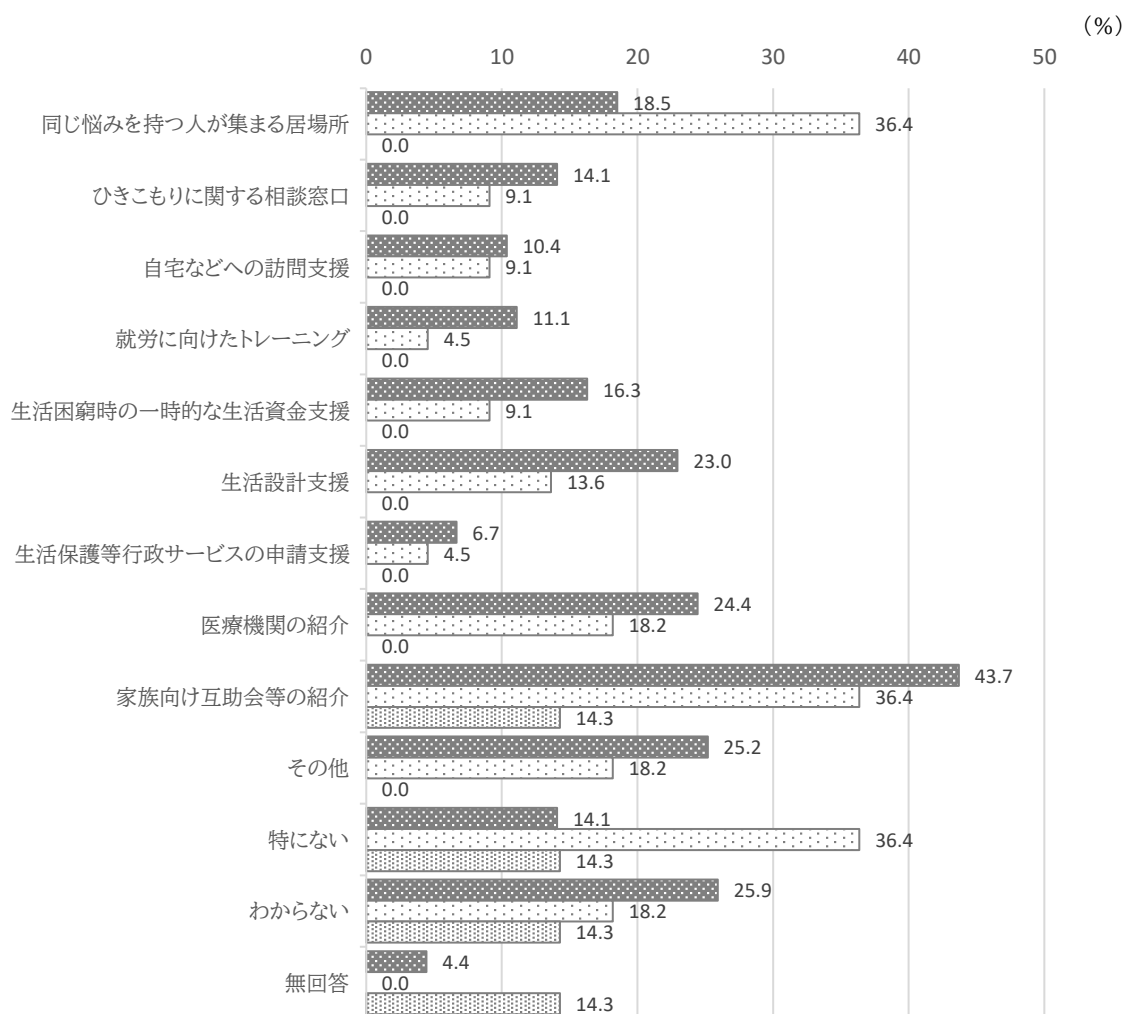
60歳～69歳



8050問題で悩む方々に対する支援については、いない群では「家族向け互助会等の紹介」が50.9%で最も多く、いる(子:8050)群では「その他」が68.8%で最も多く、ついで「家族向け互助会等の紹介」が56.3%であった。いる(子以外)群では「家族向け互助会等の紹介」が66.7%で最も多かった。

70歳～79歳

■ い な い 群 (135 人)
 ▨ いる(子:8050)群 (22 人)
 ▩ いる(子以外)群 (7 人)



8050問題で悩む方々に対する支援については、いない群では「家族向け互助会等の紹介」が43.7%で最も多く、ついで「わからない」が25.9%であった。いる(子:8050)群では「同じ悩みを持つ人が集まる居場所」及び「家族向け互助会等の紹介」、「特にない」が36.4%と最も多く、いる(子以外)群では「家族向け互助会等の紹介」及び「特にない」、「わからない」が14.3%で回答が分かれた。

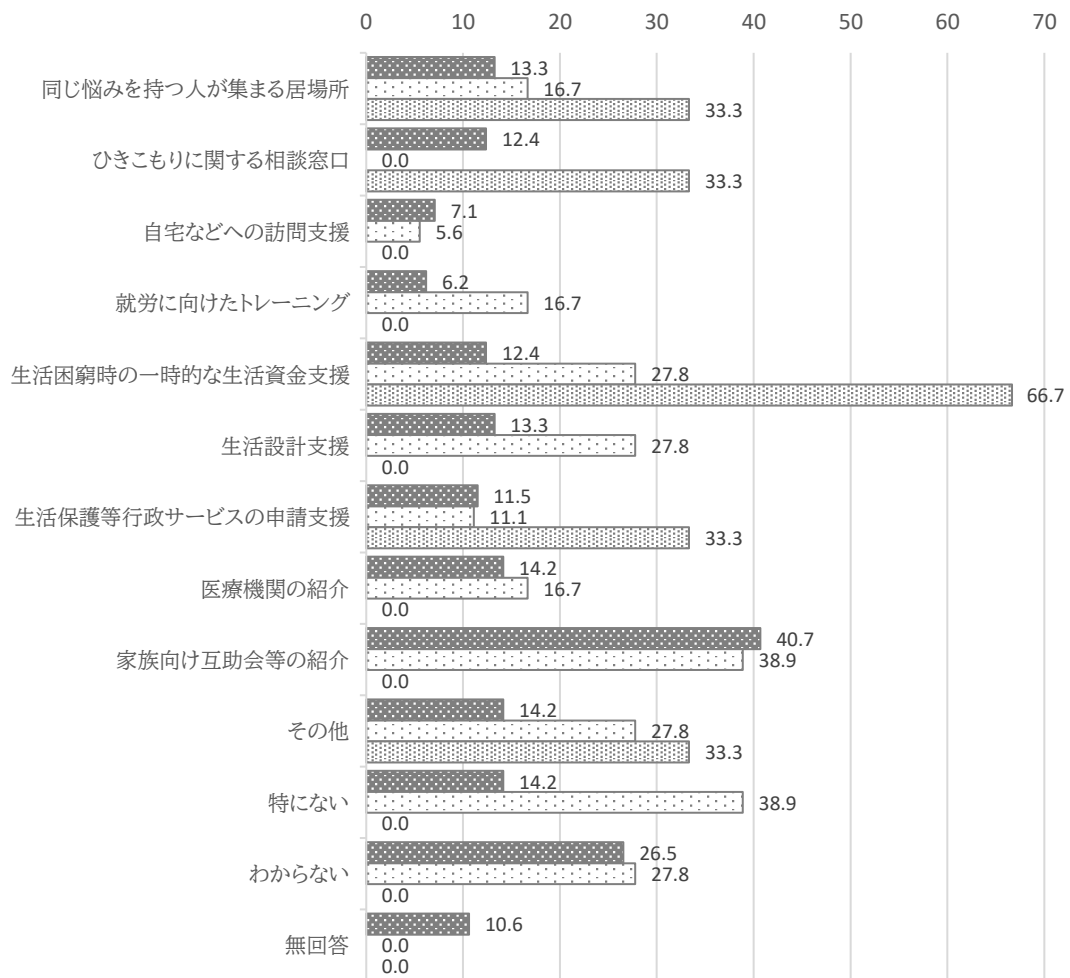
80歳～89歳

■ い な い 群 (113 人)

▨ いる(子:8050)群 (18 人)

▤ いる(子以外)群 (3 人)

(%)



8050問題で悩む方々に対する支援については、いない群では「家族向け互助会等の紹介」が40.7%で最も多く、ついで「わからない」が26.5%であった。いる(子:8050)群では「家族向け互助会等の紹介」及び「特にない」が38.9%と最も多く、いる(子以外)群では「生活困窮時の一時的な生活資金支援」が66.7%で最も多かった。

その他の内容

年代	内容
すべて	親の介護、老人ホーム グループホーム、老人介護施設の拡充 自分や配偶者に介護が必要になったときの受け入れ先や相談窓口 心身、経済的な支援 相談機関が対応できる課題を明示するリスト